

会社説明資料

～ 2022年3月期 第2四半期 ～

Yamagata

Miyagi



きらやか銀行



じもと
HOLDINGS



仙台銀行

2021年12月

1. 2022年3月期第2四半期決算の状況

① 損益の状況	…	1
② 貸出金の状況	…	3
③ 預金（譲渡性預金を含む）の状況	…	4
④ 有価証券の状況	…	5
⑤ 預かり資産の状況	…	6
⑥ 各種利回り・利鞘の状況	…	7
⑦ 経費・経営効率化の状況	…	8
⑧ 金融再生法開示債権の状況	…	9
⑨ 自己資本比率の状況	…	10
⑩ ROEの状況	…	11
⑪ 2022年3月期業績予想と配当計画	…	12
⑫ 中期経営計画目標と実績	…	13

2. 中期経営計画の進捗状況

① 経営理念と目指す姿	…	14
② 本業支援	…	15
③ 業務変革	…	16
④ 経営管理	…	17
⑤ SBIグループとの主な連携状況	…	18
⑥ 東証新市場区分への移行	…	20

3. きらやか銀行の取組みについて

① 中期経営計画の骨子	…	21
② 本業支援戦略	…	22
③ 本業支援の取組み	…	23
④ DX・SDGsについて	…	25

4. 仙台銀行の取組みについて

① 中期経営計画の骨子	…	26
② コア戦略	…	27
③ コロナ対応と本業支援	…	28
④ 中長期システム開発方針	…	29
⑤ 三位一体の効率化	…	30

5. じもとグループのサステナビリティ

① サステナビリティ基本方針	…	31
② 本業支援を通じたサステナビリティ	…	32
③ 主要課題への取組み	…	33
④ 人事戦略、投資	…	35

1. 2022年3月期第2四半期 決算の状況

① 損益の状況

① じもとホールディングス連結

(単位: 百万円、%)

	2021年9月期			2020年9月期	2021年3月期 (参考)
	前年同期比	増減率			
連結経常収益	19,812	△ 1,517	△ 7.1	21,329	44,089
経常利益	2,395	975	68.7	1,419	△ 2,275
親会社株主に帰属する中間純利益	1,604	1,540	-	64	△ 3,176

② 2行合算

(単位: 百万円、%)

	2021年9月期			2020年9月期	2021年3月期 (参考)
	前年同期比	増減率			
経常収益	17,217	△ 1,526	△ 8.1	18,744	38,762
業務粗利益	14,427	375	2.6	14,051	25,230
資金利益	13,114	△ 1,315	△ 9.1	14,430	27,771
役務取引等利益	1,217	423	53.3	793	2,426
その他業務利益	94	1,267	-	△ 1,172	△ 4,968
うち国債等債券損益	△ 13	1,250	-	△ 1,263	△ 7,549
経費(除く臨時処理分)	11,245	△ 313	△ 2.7	11,558	23,060
うち人件費	5,539	△ 286	△ 4.9	5,826	11,531
うち物件費	4,792	△ 13	△ 0.2	4,806	9,627
実質業務純益(注1)	3,181	689	27.6	2,492	2,170
コア業務純益(注2)	3,194	△ 561	△ 14.9	3,755	9,719
除く投資信託解約損益	3,152	860	37.5	2,291	7,461
一般貸倒引当金繰入額	△ 402	△ 1,450	-	1,048	1,289
業務純益	3,584	2,139	148.1	1,444	880
臨時損益	△ 1,123	△ 1,149	-	25	△ 3,259
うち不良債権処理額	1,000	1,041	-	△ 40	2,760
うち個別貸倒引当金繰入額	919	1,102	-	△ 182	2,404
うち貸倒引当金戻入益	-	-	-	-	-
うち株式等関係損益	74	62	500.1	12	△ 124
経常利益	2,460	989	67.3	1,470	△ 2,378
特別損益	△ 57	△ 60	-	2	△ 345
法人税等合計(△)	701	△ 548	△ 43.8	1,249	413
うち法人税等調整額(△)	372	△ 644	△ 63.3	1,016	74
中間純利益	1,701	1,477	661.3	223	△ 3,138
与信関係費用	595	△ 327	△ 35.5	923	4,001

(注1) 実質業務純益=業務純益(一般貸倒引当金繰入前)

(注2) コア業務純益=実質業務純益-国債等債券損益

親会社株主に帰属する

中間純利益 16億円

増益

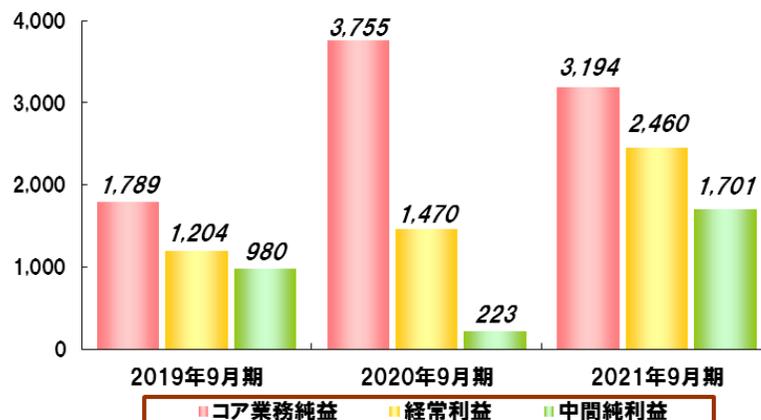
前年同期比

1,540 百万円増

有価証券運用を再構築 / 手数料収入増加 / 与信関係費用減少

- 経常収益 : 172億円 (前年同期比 増減率△8.1%)
→ 前期は、きらやか銀行有価証券再構築のため投信解約益を計上
- コア業務純益(除く投信解約損益) : 31億円 (同比+37.5%)
→ SBI連携により有価証券運用を債券中心に再構築、安定運用へ
→ 手数料収入が増加、経費を抑制
- 経常利益 : 24億円 (同比+67.3%)
→ 与信関係費用が減少
- 中間純利益 : 17億円 (同比+661.3%)
→ 前期は、有価証券評価損処理のため法人税等調整額が増加

(単位: 百万円)



① 損益の状況

③ きらやか銀行単体

(単位:百万円、%)

	2021年9月期			2020年9月期	2021年3月期 (参考)
	前年同期比	増減率			
経常収益	9,235	△ 1,305	△ 12.3	10,541	22,335
業務粗利益	7,776	△ 1	△ 0.0	7,778	12,083
資金利益	6,756	△ 1,632	△ 19.4	8,389	15,187
うち貸出金利息	5,691	△ 535	△ 8.5	6,227	12,312
うち有価証券利息配当金	1,096	△ 1,131	△ 50.7	2,227	3,010
役務取引等利益	917	337	58.2	579	1,584
その他業務利益	102	1,293	-	△ 1,191	△ 4,687
うち国債等債券損益	△ 11	1,250	-	△ 1,262	△ 7,194
経費(除く臨時処理分)	6,106	△ 312	△ 4.8	6,419	12,730
うち人件費	2,977	△ 204	△ 6.4	3,181	6,330
うち物件費	2,641	△ 97	△ 3.5	2,738	5,428
実業務純益(注1)	1,669	310	22.8	1,358	△ 647
コア業務純益(※注2)	1,680	△ 940	△ 35.8	2,621	6,547
(除く投資信託解約損益)	1,680	511	43.7	1,169	4,377
①一般貸倒引当金繰入額	△ 152	△ 495	-	343	827
業務純益	1,821	806	79.3	1,015	△ 1,474
臨時損益	△ 425	20	-	△ 446	△ 2,889
②うち不良債権処理額	271	△ 104	△ 27.6	375	2,415
うち個別貸倒引当金繰入額	219	△ 110	△ 33.3	329	2,264
(貸倒債却引当費用①+②)	119	△ 599	△ 83.4	719	3,242
うち貸倒引当金戻入益	-	-	-	-	-
うち株式等関係損益	1	△ 12	△ 87.5	14	△ 132
経常利益	1,396	826	145.2	569	△ 4,364
特別損益	1	1	-	△ 0	△ 335
法人税等合計(△)	414	△ 680	△ 62.1	1,094	155
うち法人税等調整額(△)	248	△ 754	△ 75.2	1,003	125
中間純利益	983	1,508	-	△ 525	△ 4,855
与信関係費用	119	△ 599	△ 83.4	718	3,242

(注1)実業務純益=業務純益(一般貸倒引当金繰入前)

(注2)コア業務純益=実業務純益-国債等債券損益

- 経常収益は、貸出金利息や有価証券利息配当金等の資金利益が減少したことなどから、前年同期比13億5百万円減少の92億35百万円(増減率△12.3%)となりました。
- 銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、役務取引等利益が前年同期比で3億円増加、経費が前年同期比で3億円減少したものの、資金利益が減少したことなどから、前年同期比9億40百万円減少の16億80百万円(増減率△35.8%)となりました。なお、前期は特殊要因として有価証券ポートフォリオの見直しに伴い投信解約益14億円を計上しており、投信解約損益を除くコア業務純益は前年同期比では5億11百万円増加しております。
- 与信関係費用は、貸倒引当金の戻入などにより前年同期比5億99百万円減少の1億19百万円となりました。
- 以上の結果、経常利益は前年同期比8億26百万円増加の13億96百万円、中間純利益は前年同期比15億8百万円増加し、9億83百万円となりました。

④ 仙台銀行単体

(単位:百万円、%)

	2021年9月期			2020年9月期	2021年3月期 (参考)
	前年同期比	増減率			
経常収益	7,982	△ 220	△ 2.6	8,202	16,426
業務粗利益	6,650	377	6.0	6,273	13,146
資金利益	6,358	317	5.2	6,040	12,584
うち貸出金利息	5,117	212	4.3	4,904	9,984
うち有価証券利息配当金	1,230	49	4.1	1,181	2,660
役務取引等利益	300	86	40.2	214	842
その他業務利益	△ 7	△ 25	-	18	△ 280
うち国債等債券損益	△ 1	△ 0	-	△ 1	△ 354
経費(除く臨時処理分)	5,138	△ 1	△ 0.0	5,139	10,329
うち人件費	2,562	△ 82	△ 3.1	2,644	5,200
うち物件費	2,151	83	4.0	2,068	4,198
実業務純益(注1)	1,512	378	33.4	1,133	2,817
コア業務純益(注2)	1,514	379	33.4	1,134	3,172
(除く投資信託解約損益)	1,471	348	31.0	1,122	3,083
①一般貸倒引当金繰入額	△ 249	△ 954	-	704	462
業務純益	1,762	1,333	311.0	428	2,355
臨時損益	△ 698	△ 1,170	-	472	△ 369
②うち不良債権処理額	729	1,145	-	△ 416	344
うち個別貸倒引当金繰入額	699	1,212	-	△ 512	139
(貸倒債却引当費用①+②)	479	190	65.9	288	807
うち貸倒引当金戻入益	-	-	-	-	-
うち株式等関係損益	72	74	-	△ 1	8
経常利益	1,064	163	18.1	901	1,985
特別損益	△ 58	△ 61	-	3	△ 10
法人税等合計(△)	287	132	85.2	155	258
うち法人税等調整額(△)	123	110	832.6	13	△ 51
中間純利益	717	△ 31	△ 4.1	749	1,717
与信関係費用	476	271	132.7	204	758

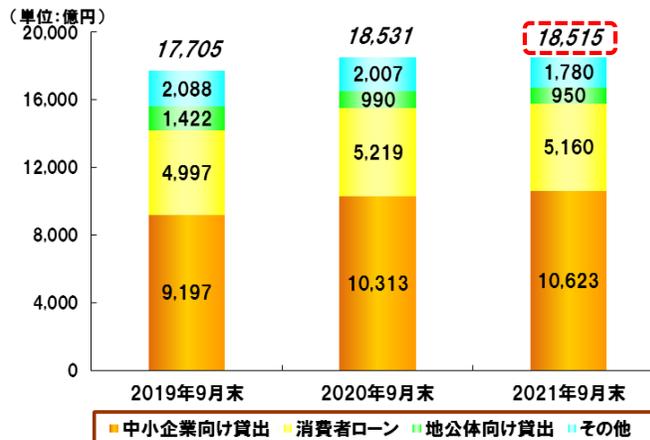
(注1)実業務純益=業務純益(一般貸倒引当金繰入前)

(注2)コア業務純益=実業務純益-国債等債券損益

- 経常収益は、貸出金利息を中心に資金運用収益が増加したものの、国債等債券売却益の減少によりその他業務収益が減少したことなどから、前年同期比2億20百万円減少の79億82百万円(増減率△2.6%)となりました。
- 銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、貸出金利息及び有価証券利息配当金の増加等により資金利益が増加したことに加え、役務取引等利益が増加したことなどから、前年同期比3億79百万円増加の15億14百万円(増減率33.4%)となりました。
- 与信関係費用は、一般貸倒引当金繰入額が減少したものの、個別貸倒引当金繰入額の増加等により、前年同期比2億71百万円増加の4億76百万円となりました。
- 経常利益は前年同期比1億63百万円増加の10億64百万円、中間純利益は法人税等合計が増加したことにより前年同期比31百万円減少の7億17百万円となりました。

② 貸出金の状況

① 2行合算

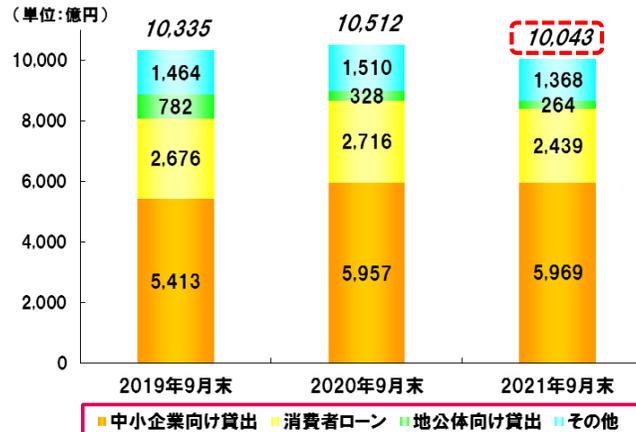


(単位:百万円、%)

	2021年9月末	2020年9月末比	増減率	2020年9月末
貸出金(末残)	1,851,510	△ 1,600	△ 0.0	1,853,111
うち中小企業向け貸出残高	1,062,388	31,013	3.0	1,031,375
うち消費者ローン	516,031	△ 5,908	△ 1.1	521,940
うち住宅ローン	475,156	△ 4,032	△ 0.8	479,189
うち地方公共団体向け貸出	95,005	△ 4,048	△ 4.0	99,053

- 2行合算の貸出金残高は、2020年9月末比16億円減少の1兆8,515億10百万円となりました。

② きらやか銀行

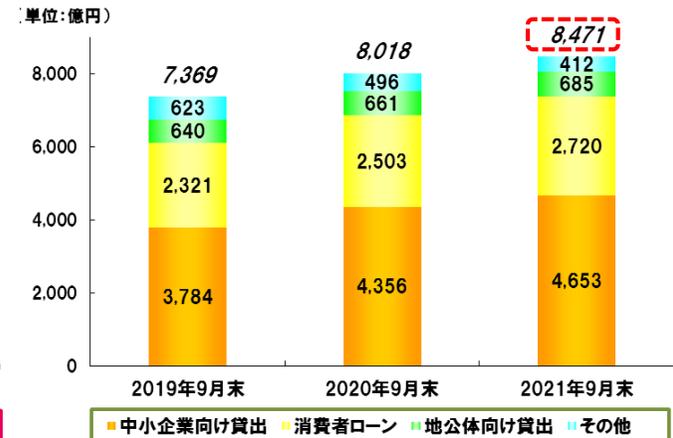


(単位:百万円、%)

	2021年9月末	2020年9月末比	増減率	2020年9月末
貸出金(末残)	1,004,330	△ 46,959	△ 4.4	1,051,289
うち中小企業向け貸出残高	596,993	1,282	0.2	595,711
うち消費者ローン	243,990	△ 27,617	△ 10.1	271,607
うち住宅ローン	228,382	△ 26,626	△ 10.4	255,009
うち地方公共団体向け貸出	26,462	△ 6,413	△ 19.5	32,875

- 貸出金残高は中小企業向け貸出は増加したものの、消費者ローンが減少したことなどから、2020年9月末比469億59百万円減少の1兆43億30百万円となりました。
- 中小企業向け貸出は、本業支援を着実に実施した結果、2020年9月末比12億82百万円増加の5,969億93百万円となりました。
- 消費者ローンは、住宅ローン残高が減少したことなどから、2020年9月末比276億17百万円減少の2,439億90百万円となりました。

③ 仙台銀行



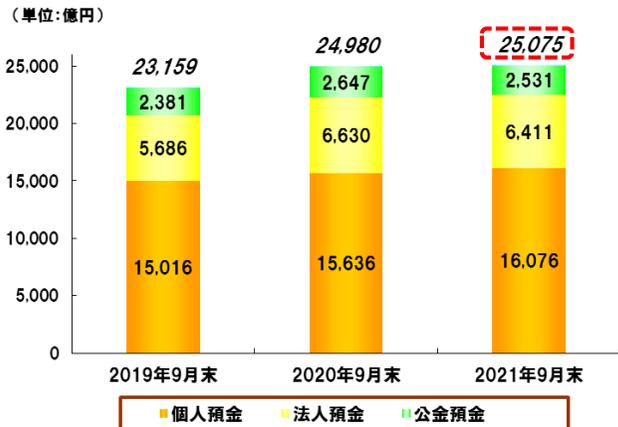
(単位:百万円、%)

	2021年9月末	2020年9月末比	増減率	2020年9月末
貸出金(末残)	847,180	45,359	5.6	801,821
うち中小企業向け貸出残高	465,395	29,731	6.8	435,664
うち消費者ローン	272,041	21,708	8.6	250,333
うち住宅ローン	246,773	22,594	10.0	224,179
うち地方公共団体向け貸出	68,543	2,364	3.5	66,178

- 貸出金残高は、2020年9月末比45億59百万円増加の8,471億80百万円となり、仙台銀行として過去最高の貸出金残高となりました。
- 中小企業向け貸出は、新型コロナウイルス感染症関連の支援を継続したことにより、2020年9月末比297億31百万円増加の4,653億95百万円となりました。
- 消費者ローンは、住宅ローン残高が増加したことなどから、2020年9月末比217億8百万円増加の2,720億41百万円となりました。
- 地方公共団体向け貸出は、2020年9月末比23億64百万円増加の685億43百万円となりました。

③預金（譲渡性預金を含む）の状況

① 2行合算



② きらやか銀行



③ 仙台銀行



(単位:百万円、%)

	2021年9月末			2020年9月末
	2021年9月末	2020年9月末比	増減率	
預金(譲渡性預金含む)(末残)	2,507,566	9,514	0.3	2,498,051
うち個人預金	1,607,661	43,985	2.8	1,563,676
うち法人預金	641,161	△ 21,849	△ 3.2	663,011
うち公金預金	253,185	△ 11,516	△ 4.3	264,701

(単位:百万円、%)

	2021年9月末			2020年9月末
	2021年9月末	2020年9月末比	増減率	
預金(譲渡性預金含む)(末残)	1,294,270	△ 7,882	△ 0.6	1,302,152
うち個人預金	881,638	8,441	0.9	873,197
うち法人預金	367,451	△ 9,200	△ 2.4	376,651
うち公金預金	42,943	△ 6,019	△ 12.2	48,962

(単位:百万円、%)

	2021年9月末			2020年9月末
	2021年9月末	2020年9月末比	増減率	
預金(譲渡性預金含む)(末残)	1,213,295	17,396	1.4	1,195,899
うち個人預金	726,022	35,543	5.1	690,478
うち法人預金	273,710	△ 12,649	△ 4.4	286,360
うち公金預金	210,241	△ 5,496	△ 2.5	215,738

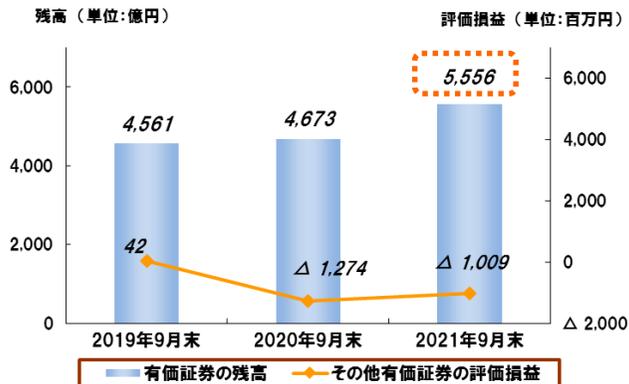
- 2行合算の預金残高は、2020年9月末比95億14百万円増加の2兆5,075億66百万円となりました。

- 預金残高は、2020年9月末比78億82百万円減少の1兆2,942億70百万円となりました。
- 個人預金は、流動性預金が増加したことなどから、2020年9月末比84億41百万円増加の8,816億38百万円となりました。
- 法人預金は、定期性預金が減少したことなどから、2020年9月末比92億円減少の3,674億51百万円となりました。

- 預金残高は、2020年9月末比173億96百万円増加の1兆2,132億95百万円となりました。
- 個人預金は、2020年9月末比355億43百万円増加の7,260億22百万円となりました。
- 法人預金は、2020年9月末比126億49百万円減少の2,737億10百万円となりました。
- 公金預金は、2020年9月末比54億96百万円減少の2,102億41百万円となりました。

④ 有価証券の状況

① 2行合算

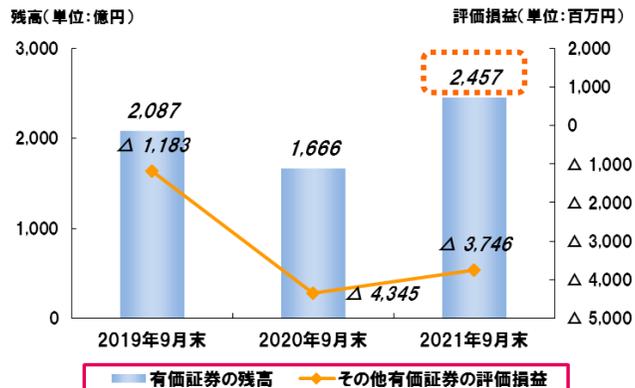


その他有価証券の評価損益 (単位: 百万円)

	2021年9月末		2020年9月末
	2020年9月末比	2020年9月末比	
その他有価証券	△ 1,009	264	△ 1,274
株式	226	167	59
債券	△ 1	△ 106	104
その他	△ 1,234	203	△ 1,438

- 2行合算の有価証券残高は、2020年9月末比882億75百万円増加の5,556億33百万円となりました。
- その他有価証券の評価損益は、2020年9月末比2億64百万円改善し、10億9百万円の評価損となりました。

② きらやか銀行

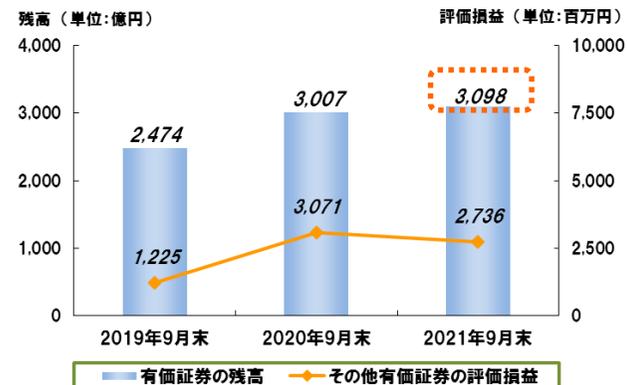


その他有価証券の評価損益 (単位: 百万円)

	2021年9月末		2020年9月末
	2020年9月末比	2020年9月末比	
その他有価証券	△ 3,746	599	△ 4,345
株式	179	169	9
債券	14	△ 144	158
その他	△ 3,939	574	△ 4,514

- 有価証券残高は、運用商品の見直しを行い有価証券ポートフォリオを再構築したことなどから、2020年9月末比791億17百万円増加の2,457億41百万円となりました。
- その他有価証券の評価損益は、前期に有価証券含み損を一括処理し、有価証券ポートフォリオを再構築しましたが、その後海外金利の上昇により評価損が拡大したことから、37億46百万円の評価損となりました。

③ 仙台銀行



その他有価証券の評価損益 (単位: 百万円)

	2021年9月末		2020年9月末
	2020年9月末比	2020年9月末比	
その他有価証券	2,736	△ 334	3,071
株式	47	△ 2	49
債券	△ 16	38	△ 54
その他	2,705	△ 370	3,075

- 有価証券残高は、預金残高の増加に伴い債券の運用額を増加させたことにより、2020年9月末比91億57百万円増加の3,098億92百万円となりました。
- その他有価証券の評価損益は、海外金利の変動の影響を受けた投資信託の評価益の減少を主因として、2020年9月末比3億34百万円減少し、27億36百万円の評価益となりました。

⑤ 預かり資産の状況

① 2行合算



(単位:百万円、%)

	2021年9月末	2020年9月末比	増減率	2020年9月末
預かり資産(未残)	200,314	△ 16,948	△ 7.8	217,262
うち投資信託	34,011	2,148	6.7	31,862
うち公共債(国債等)	6,892	△ 613	△ 8.1	7,505
うち生命保険	159,410	△ 18,483	△ 10.3	177,894

- 2行合算の預かり資産残高は、2020年9月末比169億48百万円減少の2,003億14百万円となりました。

② きらやか銀行

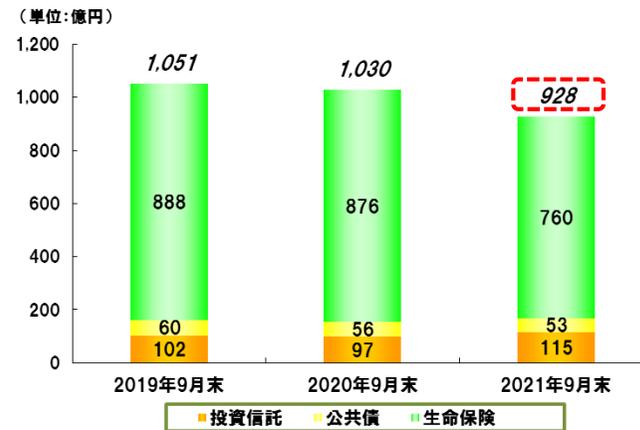


(単位:百万円、%)

	2021年9月末	2020年9月末比	増減率	2020年9月末
預かり資産(未残)	107,424	△ 6,781	△ 5.9	114,206
うち投資信託	22,511	384	1.7	22,126
うち公共債(国債等)	1,580	△ 226	△ 12.5	1,806
うち生命保険	83,333	△ 6,939	△ 7.6	90,272

- 預かり資産残高は、2020年9月末比67億81百万円減少の1,074億24百万円となりました。
- 投資信託は、2020年9月末比3億84百万円増加の225億11百万円となりました。
- 公共債は、2020年9月末比2億26百万円減少の15億80百万円となりました。
- 生命保険は、2020年9月末比69億39百万円減少の833億33百万円となりました。

③ 仙台銀行



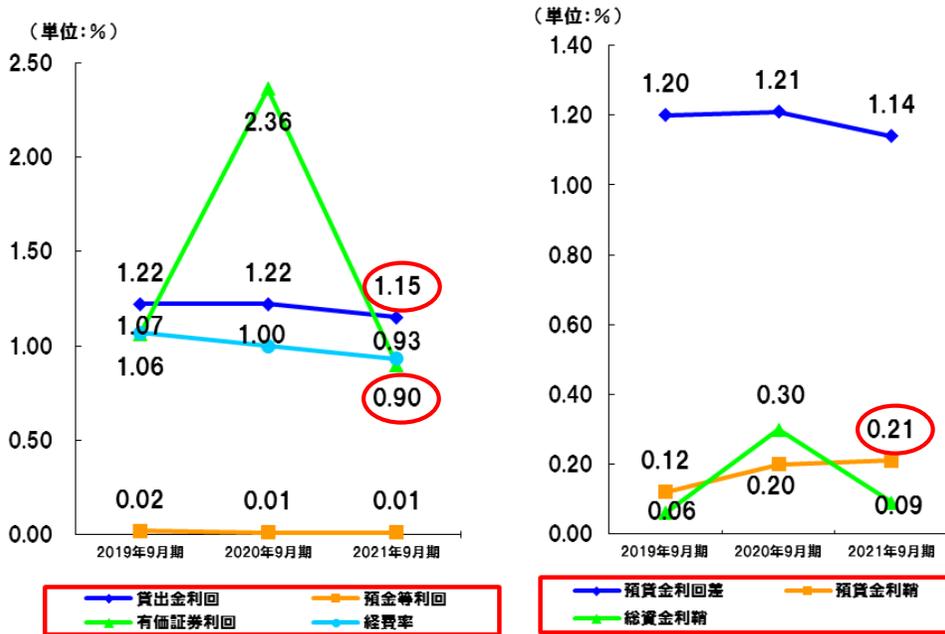
(単位:百万円、%)

	2021年9月末	2020年9月末比	増減率	2020年9月末
預かり資産(未残)	92,890	△ 10,166	△ 9.8	103,056
うち投資信託	11,500	1,764	18.1	9,735
うち公共債(国債等)	5,312	△ 386	△ 6.7	5,699
うち生命保険	76,077	△ 11,543	△ 13.1	87,621

- 預かり資産残高は、2020年9月末比101億66百万円減少の928億90百万円となりました。
- 投資信託は、お客様の資産運用ニーズへ積極的に対応したことにより、2020年9月末比17億64百万円増加の115億円となりました。
- 公共債は、2020年9月末比3億86百万円減少の53億12百万円となりました。
- 生命保険は、2020年9月末比115億43百万円減少の760億77百万円となりました。

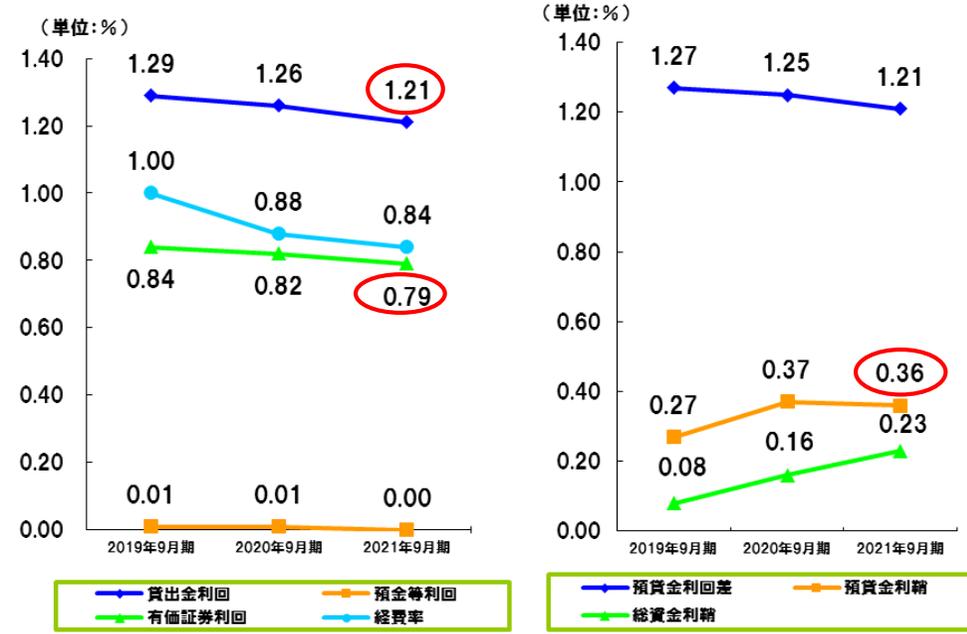
⑥ 各種利回り・利鞘の状況

① きらやか銀行



- 貸出金利回 1.15% (前年同期比0.07ポイント低下)
コロナウイルス関連資金の低金利制度融資への対応や市場金利の低下により貸出金利回りが低下しました。
- 有価証券利回 0.90% (前年同期比1.46ポイント低下)
市場金利の低下や2020年9月期は有価証券ポートフォリオ見直し等に伴う投信解約益が計上されていたことにより、前年同期比利回りは低下しました。
- 預貸金利鞘 0.21% (前年同期比0.01ポイント上昇)
貸出金利回りは低下したものの、資金調達原価も低下したことから、前年同期比プラスとなりました。

② 仙台銀行



- 貸出金利回 1.21% (前年同期比0.05ポイント低下)
コロナウイルス関連資金や住宅ローンへの積極的な貸出により貸出金利回りが低下しました。
- 有価証券利回 0.79% (前年同期比0.03ポイント低下)
市場金利の低下により、有価証券利回りは低下しました。
- 預貸金利鞘 0.36% (前年同期比横ばい)
貸出金利回りは低下したものの、資金調達原価も低下したことから、前年同期比横ばいとなりました。

① きらやか銀行



(単位: 百万円)

	2019年9月末	2020年9月末	2021年9月末
一人当たり預金	1,306	1,432	1,553
一人当たり賞出金	1,071	1,156	1,205
一店舗当たり預金	20,333	21,002	23,967
一店舗当たり賞出金	16,670	16,956	18,598
店舗数 (店)	62	62	54
行員数 (人)	965	909	833

※店舗数については、ブランチ・イン・ブランチ実施店を1店舗として計上。

インターネット支店1か店を含む。

※行員数は、正行員数で出向者を除く

- 経費は次の要因により、前年同期比3億12百万円減少の61億6百万円となりました。
 - ・人件費：職員数の減少等により、前年同期比2億4百万円減少
 - ・物件費：保守管理費や賃借料の削減により前年同期比0.7百万円減少
- コアOHRは、経費は減少したものの、資金利益の減少から前年同期比7.41ポイント増加の78.41%となりました。
- 店舗はブランチ・イン・ブランチ化を進め、1年間で8カ店を統合しました。

② 仙台銀行



(単位: 百万円)

	2019年9月末	2020年9月末	2021年9月末
一人当たり預金	1,395	1,594	1,655
一人当たり賞出金	974	1,069	1,155
一店舗当たり預金	19,542	22,998	24,761
一店舗当たり賞出金	13,647	15,419	17,289
店舗数 (店)	54	52	49
行員数 (人)	756	750	733

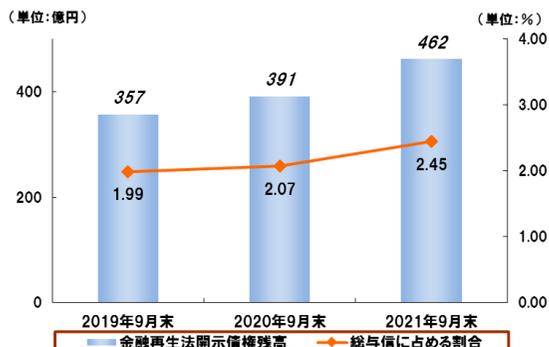
※店舗数については、ブランチ・イン・ブランチ実施店を1店舗として計上。

※行員数は、正行員数で出向者を除く

- 経費は次の要因により前年同期比1百万円減少の51億38百万円となりました。
 - ・人件費：職員数の減少等により前年同期比82百万円減少
 - ・物件費：営業店端末入替による減価償却費増加要因等から前年同期比83百万円増加
- コアOHRは、資金利益及び役員取引等利益の増加等により、前年同期比4.67ポイント低下の77.24%となりました。
- 店舗はブランチ・イン・ブランチ化を進め、1年間で3カ店を統合しました。

⑧金融再生法開示債権の状況

① 2行合算



①金融再生法開示債権残高 (単位: 百万円、%)

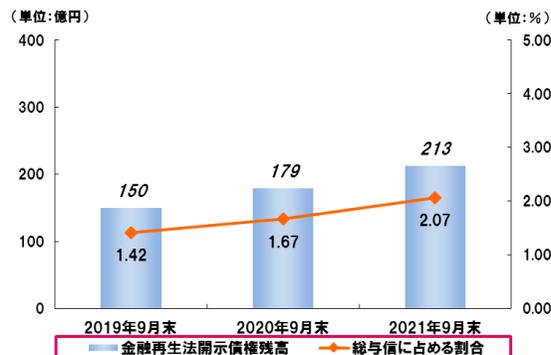
	2021年9月末	2020年9月末比	2020年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	4,630	1,076	3,553
危険債権	35,362	5,332	30,030
要管理債権	6,210	685	5,525
合計 (A)	46,203	7,094	39,109
正常債権	1,839,574	△ 3,944	1,843,519
総与信額 (B)	1,885,777	3,149	1,882,628
(A / B)	2.45	0.38	2.07

②金融再生法開示債権の保全状況(2021年9月末) (単位: 百万円、%)

	債権額 (A)	保全額 (B)	保全率 (B/A)		
			担保保証等	貸倒引当金	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	4,630	4,630	2,124	2,506	100.00
危険債権	35,362	29,645	25,082	4,563	83.83
要管理債権	6,210	2,118	1,778	339	34.11
合計	46,203	36,394	28,985	7,408	78.76

- 金融再生法開示債権の残高(要管理債権以下の合計額)は、2020年9月末比70億94百万円増加の462億3百万円となりました。
- 総与信額に占める割合は、2020年9月末比0.38ポイント上昇し、2.45%となりました。

② きらやか銀行



①金融再生法開示債権残高 (単位: 百万円、%)

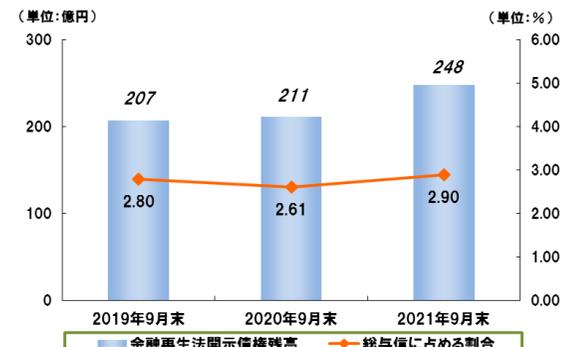
	2021年9月末	2020年9月末比	2020年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	3,049	596	2,453
危険債権	15,764	3,031	12,732
要管理債権	2,582	△ 194	2,777
合計 (A)	21,396	3,433	17,963
正常債権	1,009,683	△ 46,748	1,056,432
総与信額 (B)	1,031,080	△ 43,315	1,074,396
(A / B)	2.07	0.40	1.67

②金融再生法開示債権の保全状況(27年9月末) (単位: 百万円、%)

	債権額 (A)	保全額 (B)	保全率 (B/A)		
			担保保証等	貸倒引当金	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	3,049	3,049	1,245	1,804	100.00
危険債権	15,764	10,758	9,523	1,235	68.24
要管理債権	2,582	555	290	264	21.50
合計	21,396	14,363	11,059	3,304	67.13

- 金融再生法開示債権の残高(要管理債権以下の合計額)は、2020年9月末比34億33百万円増加の213億96百万円となりました。
- 総与信額に占める割合は、2020年9月末比0.40ポイント上昇し2.07%となりました。

③ 仙台銀行



①金融再生法開示債権残高 (単位: 百万円、%)

	2021年9月末	2020年9月末比	2020年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,580	479	1,100
危険債権	19,598	2,300	17,297
要管理債権	3,628	880	2,747
合計 (A)	24,806	3,660	21,145
正常債権	829,890	42,804	787,086
総与信額 (B)	854,697	46,464	808,232
(A / B)	2.90	0.29	2.61

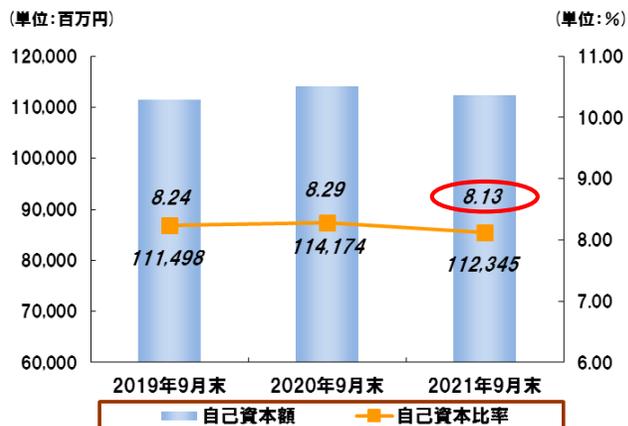
②金融再生法開示債権の保全状況(2021年9月末) (単位: 百万円、%)

	債権額 (A)	保全額 (B)	保全率 (B/A)		
			担保保証等	貸倒引当金	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,580	1,580	878	701	100.00
危険債権	19,598	18,886	15,559	3,327	96.36
要管理債権	3,628	1,563	1,488	75	43.09
合計	24,806	22,030	17,925	4,104	88.80

- 金融再生法開示債権の残高(要管理債権以下の合計額)は、2020年9月末比36億60百万円増加の248億6百万円となりました。
- 総与信額に占める割合は、2020年9月末比0.29ポイント上昇し2.90%となりました。

⑨ 自己資本比率の状況

① じもとホールディングス連結

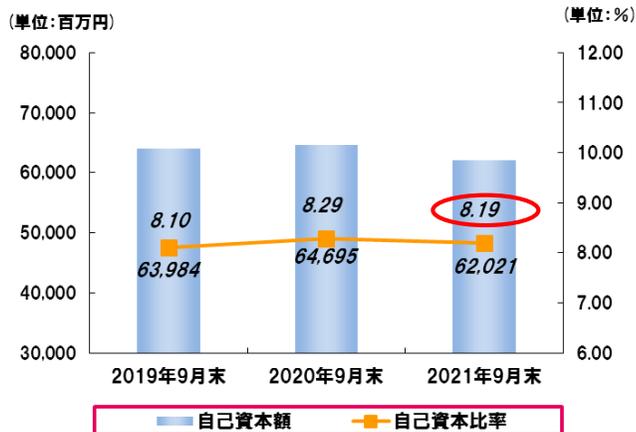


(単位: %)

	2021年9月末	2020年9月末比	2020年9月末
	連結自己資本比率	8.13	Δ 0.16

- じもとホールディングスの連結自己資本比率は8.13%となりました。

② きらやか銀行



(単位: %)

	2021年9月末	2020年9月末比	2020年9月末
	自己資本比率[単体]	8.19	Δ 0.10
自己資本比率[連結]	8.05	Δ 0.10	8.15

- 単体の自己資本比率は、自己資本額が減少したことなどから、2020年9月末比0.10ポイント低下し8.19%となりました。

③ 仙台銀行

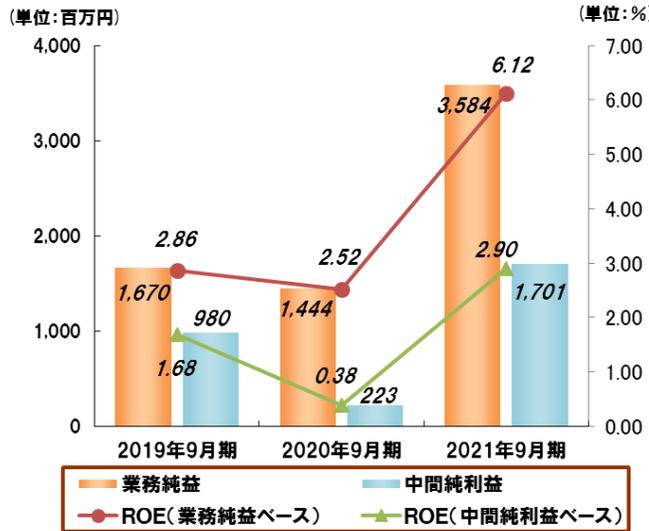


(単位: %)

	2021年9月末	2020年9月末比	2020年9月末
	自己資本比率[単体]	8.27	Δ 0.14
自己資本比率[連結]	8.27	Δ 0.15	8.42

- 単体の自己資本比率は、中間純利益を7億17百万円計上したことなどにより自己資本額（分子）が増加した一方で、貸出金残高の増加などに伴いリスクアセット（分母）が増加したことから、2020年9月末比0.14ポイント低下の8.27%となりました。

① 2行合算



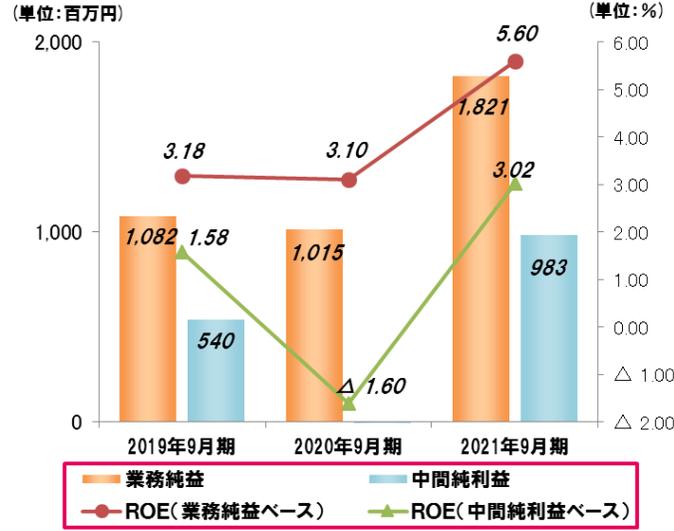
(単位: %)

		2021年 9月期	2020年 9月期比	2020年 9月期
ROE	業務純益ベース	6.12	3.60	2.52
	中間純利益ベース	2.90	2.52	0.38

● 2021年9月期の2行合算のROE

業務純益ベース 6.12%
(前年同期比3.60ポイント上昇)
中間純利益ベース 2.90%
(前年同期比2.52ポイント上昇)

② きらやか銀行



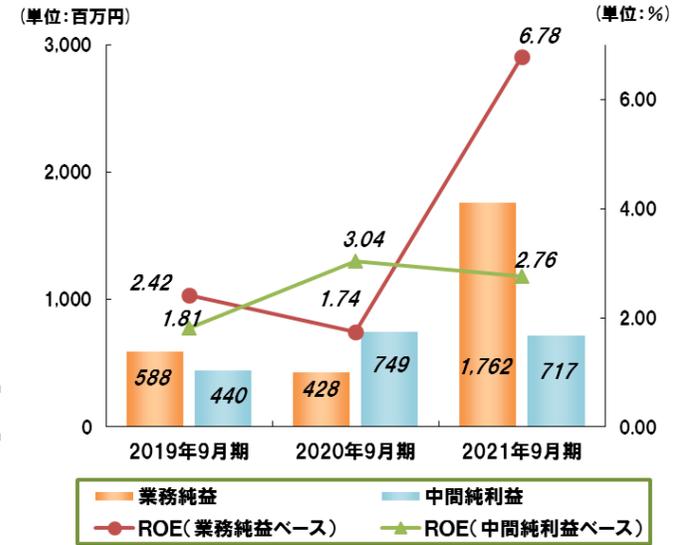
(単位: %)

		2021年 9月期	2020年 9月期比	2020年 9月期
ROE	業務純益ベース	5.60	2.50	3.10
	中間純利益ベース	3.02	4.62	△ 1.60

● 2021年9月期のきらやか銀行のROE

業務純益ベース 5.60%
(前年同期比2.50ポイント上昇)
中間純利益ベース 3.02%
(前年同期比4.62ポイント上昇)

③ 仙台銀行



(単位: %)

		2021年 9月期	2020年 9月期比	2020年 9月期
ROE	業務純益ベース	6.78	5.04	1.74
	中間純利益ベース	2.76	△ 0.28	3.04

● 2021年9月期の仙台銀行のROE

業務純益ベース 6.78%
(前年同期比5.04ポイント上昇)
中間純利益ベース 2.76%
(前年同期比0.28ポイント低下)

① じもとホールディングスの連結業績予想及び配当方針

(単位：百万円)

	2022年3月期	中間期実績	(参考) 2021年3月期 実績
	経常利益	3,700	2,395
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,100	1,604	△ 3,176

基準日	中間	期末	年間
2022年3月期	10円00銭	10円00銭	20円00銭
(参考) 2021年3月期	1円50銭	-	-
	-	10円00銭	-

※当社は、2020年10月1日付で、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。
また、2021年3月期の1株あたりの年間配当合計につきましては、単純合算ができないため、「-」と表示しております。

- じもとホールディングスの2022年3月期の連結業績予想は、経常利益37億円、親会社株主に帰属する当期純利益31億円を見込んでおります。
- じもとホールディングスの2022年3月期の期末配当金は、1株あたり10円を予定しております。また、2022年3月期の年間配当金は、1株あたり20円を予定しております。配当につきましては、コロナ禍にある地元中小企業への支援に向け、十分な自己資本を確保するため、内部留保の充実化を優先させていただくものです。

② 子銀行の個別業績予想

きらやか銀行

(単位：百万円)

	2022年3月期	中間期実績	(参考) 2021年3月期 実績
	経常利益	1,500	1,396
当期純利益	1,500	983	△ 4,855

仙台銀行

(単位：百万円)

	2022年3月期	中間期実績	(参考) 2021年3月期 実績
	経常利益	2,000	1,064
当期純利益	1,500	717	1,717

- きらやか銀行単体ベースでは、経常利益15億円、当期純利益15億円を見込んでおります。
- 仙台銀行単体ベースでは、経常利益20億円、当期純利益15億円を見込んでおります。

⑫ 中期経営計画目標と実績

じもとHD (連結)

(単位: 億円、%)

	2021年9月期		2022年3月期 計画	2023年3月期 計画	2024年3月期 計画
	実績	前年同期比			
コア業務純益 ※1	28.6	8.6	55	62	71
経常利益	23.9	9.7	37	48	59
親会社株主に帰属する中間純利益	16.0	15.4	31	37	45
貸出金平残	18,421.4	376.5	18,470	18,702	18,936
預金平残	25,211.1	885.5	25,039	25,052	25,151
自己資本比率	8.1	△ 0.1	8.0 程度	8.1 程度	8.2 程度
コアOHR ※2	80.0	△ 5.5	80.7	78.7	75.8
ROE	2.7	2.5	2.5	3.0	3.3
顧客向けサービス業務利益 ※3 (2行合算)	6.9	2.7	14	19	28

きらやか銀行(単体)

(単位: 億円、%)

	2021年9月期		2022年3月期 計画	2023年3月期 計画	2024年3月期 計画
	実績	前年同期比			
コア業務純益 ※1	16.8	5.1	31	32	38
経常利益	13.9	8.2	15	20	26
中間純利益	9.8	15.0	15	17	22
貸出金平残	10,041.1	△ 290.6	10,135	10,081	10,031
預金平残	13,030.7	342.8	12,954	12,854	12,754
自己資本比率	8.1	△ 0.1	8.1 程度	8.3 程度	8.4 程度
コアOHR ※2	78.4	△ 6.1	79.9	79.0	75.1
ROE	3.0	4.6	2.4	2.6	3.2
顧客向けサービス業務利益 ※3	3.9	0.9	8	8	14

仙台銀行 (単体)

(単位: 億円、%)

	2021年9月期		2022年3月期 計画	2023年3月期 計画	2024年3月期 計画
	実績	前年同期比			
コア業務純益 ※1	14.7	3.4	28	33	36
経常利益	10.6	1.6	20	27	31
中間純利益	7.1	△ 0.3	15	20	23
貸出金平残	8,380.2	667.1	8,334	8,620	8,905
預金平残	12,180.3	542.7	12,084	12,197	12,396
自己資本比率	8.2	△ 0.1	8.0 程度	8.0 程度	8.0 程度
コアOHR ※2	77.7	△ 4.3	78.5	75.3	73.6
ROE	2.7	△ 0.2	2.8	3.6	3.9
顧客向けサービス業務利益 ※3	3.0	1.7	5	10	14

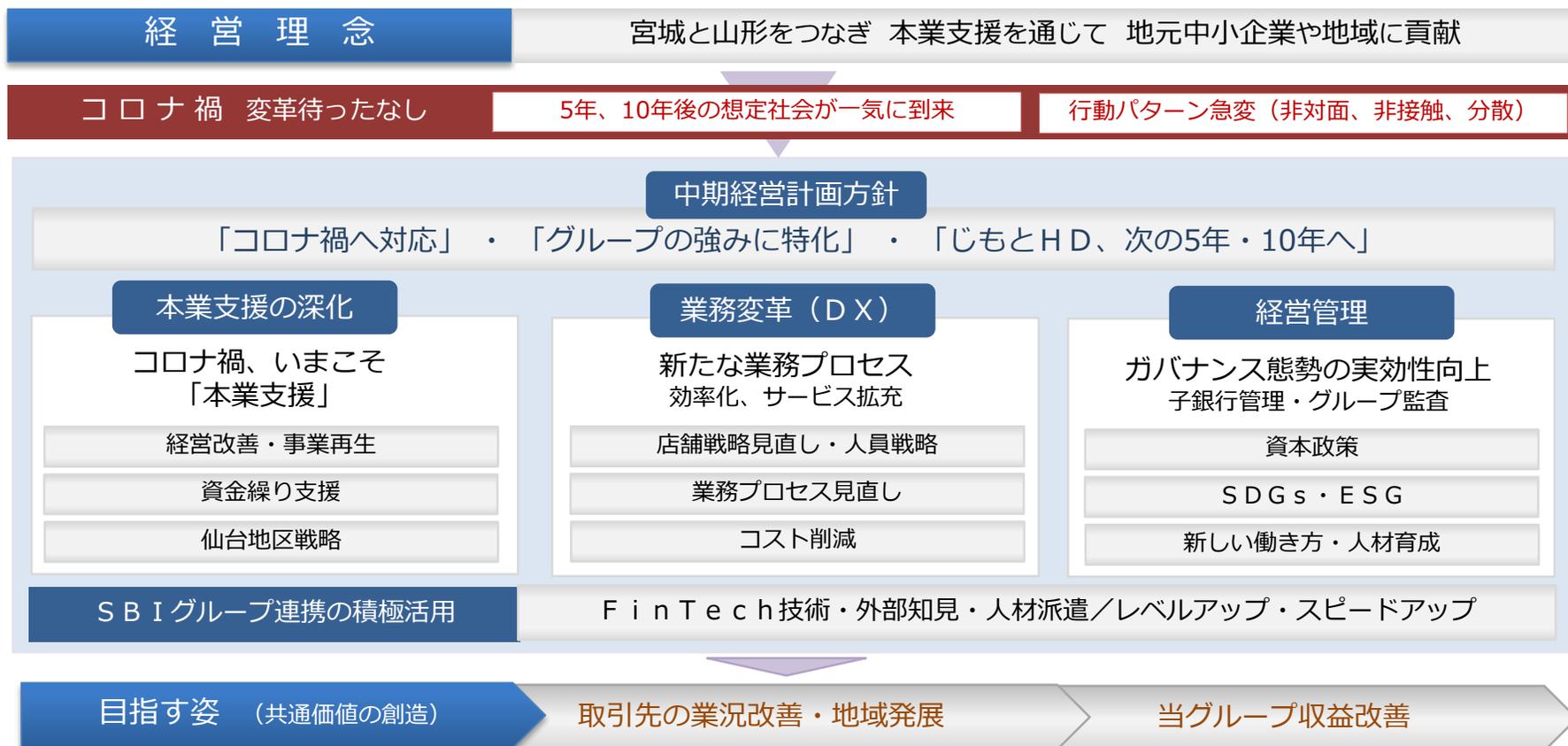
※1,2 投信解約益等 (投信解約益 + 債権売却益) を除く

※3 顧客向けサービス業務利益 = 貸出金残高 × 預貸金利回差 + 役務取引等利益 - 営業経費

2. 中期経営計画の進捗状況

じもとホールディングス

- 当グループの経営理念は、「宮城と山形をつなぎ、本業支援を通じて、地元中小企業や地域に貢献する」ことです。
- 新中期経営計画（2021年～2023年）では、コロナ禍の対応を重要課題とし、次の5年・10年後も見据えて「本業支援の深化」「業務変革（DX）」「経営管理」を計画の3本柱としております。
- 当グループは、本計画を通じて、これまで以上にお取引先の業況改善や地域発展に貢献することで、当グループの収益改善にもつなげる「共通価値の創造」を実現すべく、全力で取り組んでおります。



じもとホールディングス

- 当グループでは、コロナ禍が中長期化するなか、取引先との面談を徹底し、経営改善・事業支援、信頼関係の構築につなげております。
- 当グループの最重点エリアである仙台地区においては、地元企業の様々な資金ニーズに積極的かつ迅速に対応しております。
- ビジネスマッチングは、コロナ禍の影響で対面での商談会が減少。ECサイトでのビジネスマッチングなど新たな手法を導入しております。

中小企業成長戦略の深化

きらやか銀行

中小企業「営業キャッシュフロー改善」

- ◆ 経営デザインシートを活用
- ◆ ローカルベンチマークを活用

アフターコロナを見据え、経営課題の解決を支援

仙台銀行

「本業支援ミーティング」開始

- ◆ ファイナンスニーズ
- ◆ 本業支援ニーズ

地域経済活性化支援機構（REVIC）と連携。本支店一体で対応し提案強化

仙台地区営業戦略

中小企業貸出平均残高

2021年上期	4,587億円
対前年同期比	増加 424億円
伸び率	10.2%

仙台地区営業戦略会議
グループ支店長が参加

きらやか銀行審査役
仙台銀行本店に駐在

ビジネスマッチング

宮城と山形をつなぐ

紹介実績	61件 (前年同期比△31件)
成約実績	9件 (前年同期比△51件)

コロナ禍で対面商談会が大幅減

きらぼしFG連携（東京）

紹介実績	19件 (前年同期比+18件)
成約実績	12件 (前年同期比+12件)

首都圏と宮城・山形を広域ネットでつなぐ

じもとホールディングス

- 当グループでは、コロナ禍による社会経済の変化、急速なDXの進展などの環境変化に応じた、スピード感ある業務変革を重要課題としております。
- 「店舗戦略」「業務効率化・DX」「人員戦略」を一体で進め、経営資源を効率的に再配分し、営業体制の増強につなげております。SBIグループの知見やノウハウも積極活用し、新たな金融サービスの提供や業務の再構築に取り組んでおります。

「店舗戦略」「業務効率化」「人員戦略」を一体で推進

店舗戦略

店舗統廃合	8店舗
融資窓口変更 (事業融資の取り扱いを 近隣店舗へ変更)	5店舗
店舗建替え	4店舗



仙台銀行宮城町支店（建替え）

業務効率化

本部営業店の業務再構築（BPR）
年間17,543時間を削減

請求書ペーパーレス化

WEB会議の積極活用

給与計算業務の共有化

融資管理業務の集計自動化

法人向けインターネットバンキング
バージョンアップ

人員戦略

「店舗戦略」「業務効率化」による
創出人員を渉外担当者へ順次再配置

きらやか銀行

渉外担当者数	283 名
2024年3月末目標	300名

仙台銀行

渉外担当者数	262 名
2024年3月末目標	300名

SBIグループ連携の積極活用

じもとホールディングス

- じもとグループでは、リスク管理や社外取締役の増員など、ガバナンス態勢の強化と実効性向上に取り組んでおります。
- また、多様な人材が活躍できる職場環境を目指して、働き方改革や人材育成の取り組みを積極的に進めております。
- SBIグループへ当社グループの若手職員を派遣し、有価証券運用管理、FinTech・IT、M&A分野において人事交流を拡大しております。

経営管理態勢の高度化

リスク管理態勢の強化

子銀行の有価証券運用、信用リスク管理に対するホールディングスの権限を強化。

社外取締役の増員

SBIホールディングスから派遣された社外取締役1名を増員。

経営強化計画の更新

経営強化計画を、2021年9月の金融機能強化審査会を経て更新・公表。

東証新市場区分の対応

新市場区分の選択、改訂CGコード対応に向けてグループ各社取締役会で協議。

新しい働き方・人材育成

子育て支援

育児休暇取得者の職場復帰に向けて、WEBフォローアップセミナーを開催。

女性・若手職員の活躍推進

改訂CGコードを踏まえ、女性管理職の目標設定をグループ各社取締役会で協議。

ワーク・ライフ・バランス

適正な勤務時間管理のため、本部・営業店の入館時間制限を試行、実施。

ビジネスカジュアル

働きやすい職場環境づくりに向け、クールビズ・ウォームビズに加え、ビジネスカジュアルを試行、導入。

ESG / SDGs

サステナビリティ

改訂CGコードを踏まえ、グループのサステナビリティ基本方針等を取締役会で協議。

次世代へ向けた人事交流

SBIグループ

職員をSBIグループへトレーニー派遣（有価証券運用、DX・IT、M&A）。

SBIマネープラザ共同運用を通じた、SBIグループ職員との交流、ノウハウ吸収。

じもとホールディングス

- じもとグループでは、SBIグループとの連携を積極活用し、本業支援、業務変革、経営管理、人材育成の各分野で提携効果を発揮しております。
- 2020年11月の資本業務提携締結以来、SBIグループから75提案を受け、23施策を実施しております。

SBIグループとの主な提携実績

法人戦略

- ◆ 無料ECサイト構築支援
- ◆ 電子稟議ワークフロー導入支援
- ◆ 事業性ローン団信取扱
- ◆ DX関連オンラインセミナー開催
- ◆ 助成金、補助金申請支援

地方自治体支援

- ◆ 地域通貨(プレミアム商品券)の電子化

個人戦略

- ◆ 住宅ローン団信
- ◆ がん保険
- ◆ 銀行代理業による住宅ローン
- ◆ 個人版確定拠出年金
- ◆ DX関連オンラインセミナー開催
- ◆ 投資信託商品

ガバナンス

- ◆ SBIより社外取締役1名が就任
- ◆ SBIよりオブザーバー2名が会議参加

有価証券運用

- ◆ 子銀行有価証券ポートフォリオ再構築

SBIマネープラザ

- ◆ 共同店舗運営、資産運用提案の向上

人材トレーニー派遣

- ◆ SBIネオファイナンシャルサービスーズ (FinTech技術)
- ◆ SBI地方創生アセットマネジメント (有価証券運用・管理)
- ◆ SBI証券 (M&A)

ファンド出資

- ◆ SBIインベストメント組成ファンド出資

コスト削減

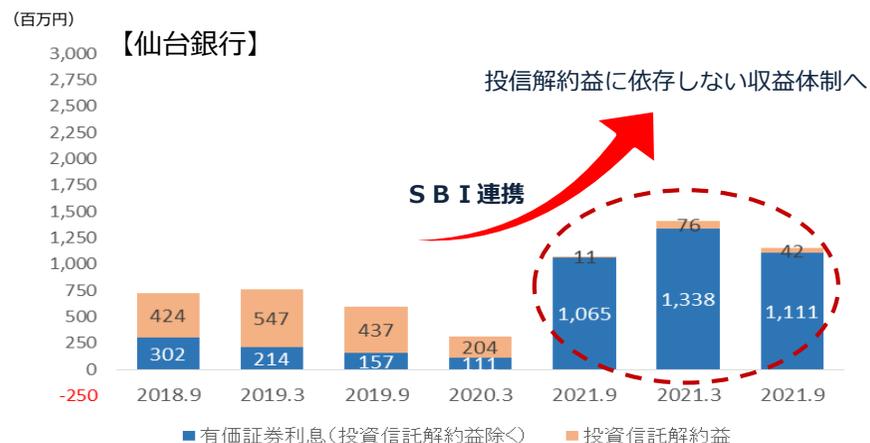
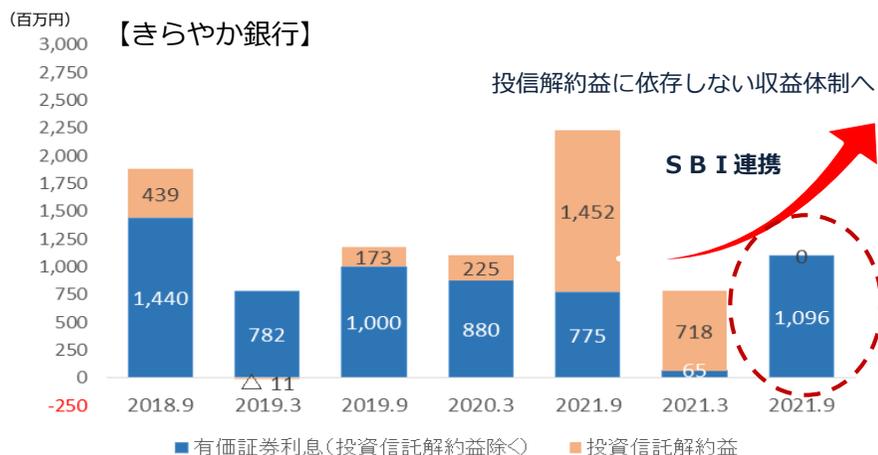
- ◆ じもとHD役員賠償責任保険見直し
- ◆ SBIプロセス・イノベータのノウハウ活用



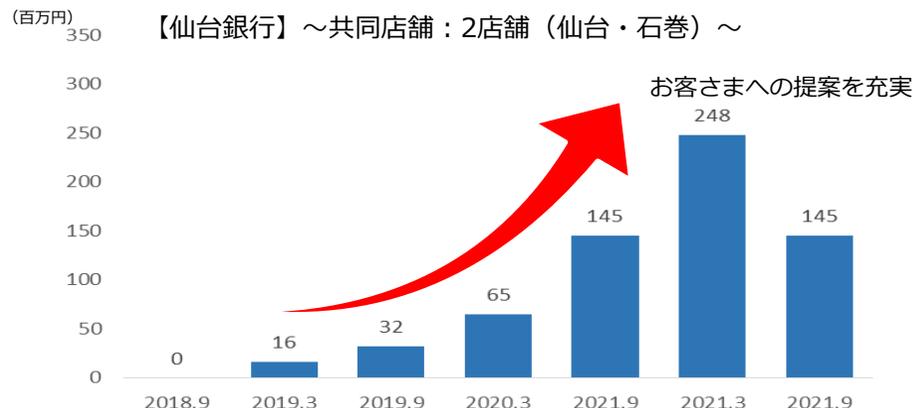
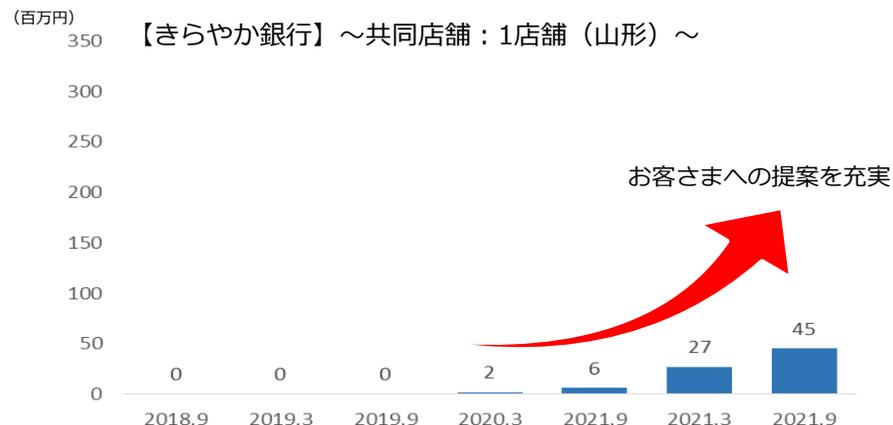
じもとホールディングス

- SBIグループと連携し、子銀行の有価証券ポートフォリオを再構築。投資信託解約益に依存しないインカムゲイン中心の運用を実現しました。
- SBIマネープラザでは、SBI証券の豊富な商品ラインナップを活用。お客さまの資産形成に向けたご提案・サポートを充実させました。

<有価証券利息の推移>



<SBIマネープラザ手数料の推移>



じもとホールディングス

- じもとホールディングスは、2022年4月予定の東証新市場区分について、「スタンダード市場」への移行を選択・申請することを決議いたしました。
- 2021年7月に東証より「新市場区分における上場維持基準への適合状況に関する一次判定結果」を受領、当社が「スタンダード市場」の上場維持基準に適合していることを確認しております。今後、東証が定めるスケジュールに基づき、所定の手続きを進めてまいります。

宮城と山形を基盤とする地域金融機関 上場企業（スタンダード市場）として企業価値をさらに向上

じもとグループ・ビジネスモデル

【経営理念】

宮城と山形をつなぎ 本業支援を通じて
地元中小企業や地域に貢献

【目指す姿】

<共通価値の創造>

取引先の業況改善、地域の発展が
当グループの企業価値向上へつながる

【株主数構成】

SBIグループ
地元の宮城・山形の株主さま
合計 **67%** (2021年9月末現在)

【ガバナンス】

監査等委員会設置会社
社外取締役 **13** 名
(グループ合計 2021年9月末現在)

新市場区分の目的

プライム市場

- ◆グローバルな海外投資家と対話を進める企業
- ◆より高いガバナンス水準

スタンダード市場

- ◆上場企業として基本的なガバナンス水準

新市場区分の選択理由

- プライム市場は海外投資家との対話を進めるグローバル企業が対象。上場維持コストや注入すべき経営資源がさらに増加する。
- じもとグループのビジネスモデル、株主数構成、ガバナンス態勢を考慮すると、スタンダード市場を選択し、グループの経営資源をビジネスモデルの深化へ集中させ、地域貢献を果たしていくことが、当社の存在意義、企業価値の向上につながると判断。

企業価値の向上

業績向上

- ◆経営理念に基づくビジネスモデルを徹底し、中期経営計画を達成

投資家との対話

- ◆地元株主を中心に、多様な株主との対話を進め、信頼関係を構築

ガバナンス高度化

- ◆上場企業（監査等委員会設置会社）としてガバナンス機能をさらに発揮

サステナビリティ

- ◆SDGsや女性職員の活躍など、事業活動を通じて持続可能な社会づくりに貢献

3. きらやか銀行の取組みについて

経営理念 “私たちの想い”

➢ 本業支援を通して地元の「中小企業」と「そこに働いている従業員の皆さま」から喜んでいただき地域と共に生きること

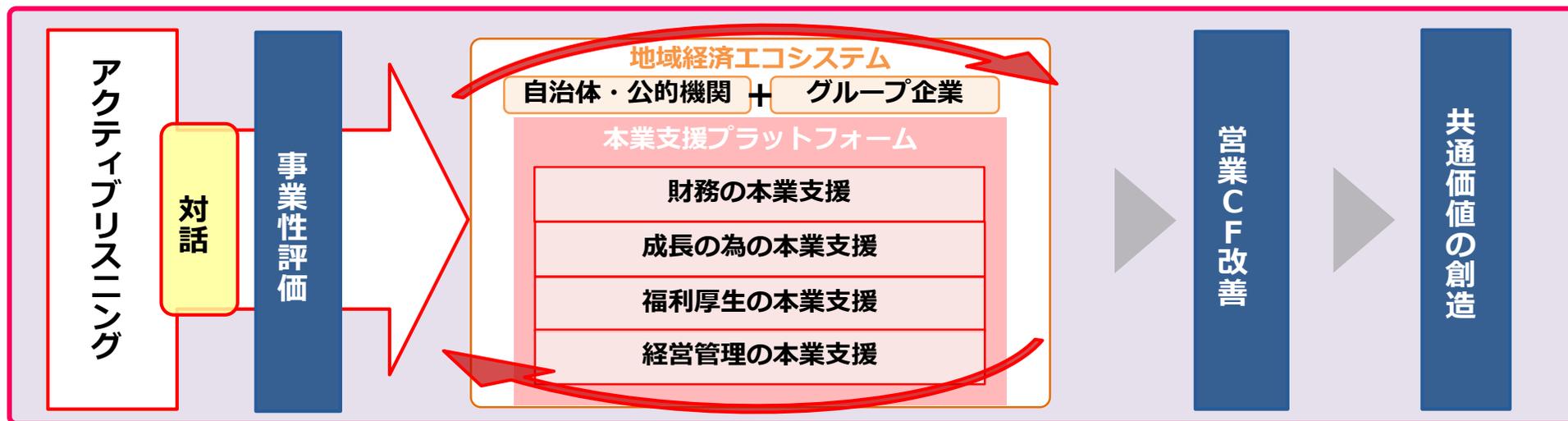
目指す姿

➢ 「本業支援業の確立」を通じて経営理念を表現し、地域と共に生きる



当行がすべきこと

= 本業支援によるお客さまの稼ぐ力の強化に向けた組織的・継続的な取組み



<コロナ禍での取組み>

■新型コロナウイルス融資実行関連	■事業再構築補助金申請	■新型コロナウイルス対策資本金性劣後ローン									
<p>各営業店においてお客さまに対し、新型コロナウイルス感染症の影響確認を実施し、スピーディかつ適切な対応をしております。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響で厳しい状況下にある中小企業・個人事業主の皆さまに対して、新分野展開、業態転換、事業・業種転換・事業再編等、事業の再構築に意欲を有するお客さまへ事業再構築補助金の申請書策定サポートを実施しております。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症による影響を受けたお客さまに対し、財務基盤強化のため日本政策金融公庫等の政府系金融機関と連携し資本金性劣後ローンの導入支援を実施しております。現在、相談中の案件も複数あり引き続きしっかりと対応しております。</p>									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>コロナ禍に係る対応状況</th> <th>件数</th> <th>融資額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>■新型コロナウイルス関連</td> <td>3,485件</td> <td>900億円</td> </tr> <tr> <td>■条件変更</td> <td>405件</td> <td>147億円</td> </tr> </tbody> </table>	コロナ禍に係る対応状況	件数	融資額	■新型コロナウイルス関連	3,485件	900億円	■条件変更	405件	147億円	<p>■1次・2次・3次公募までに 61件の申請策定サポート</p>	<p>■2021年9月末 42件 78億円</p>
コロナ禍に係る対応状況	件数	融資額									
■新型コロナウイルス関連	3,485件	900億円									
■条件変更	405件	147億円									

取引先から決して逃げない本業支援

株式会社パオラレディさま

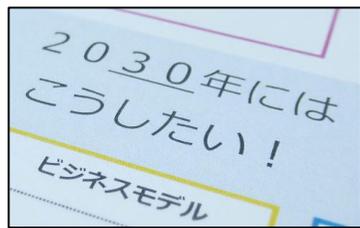


<会社概要>

事業 婦人服縫製業
 大手商社・アパレルからの
 委託生産

創業年 1973年4月

従業員数 127名



将来に向かって

- ★現状分析
現在の会社の健康状態を確認
→ローカルベンチマーク
- ★バックカスティング思考
社長と共に「将来ありたい姿」を
考えました。
→経営デザインシート

本業支援の取組み

(1) 「財務の本業支援」

- ・借換による一本化
 - ・短期継続融資
- 年間償還額と
営業CFの
ギャップを解消

(3) 「福利厚生の本業支援」

- ・ふっくりパッケージ
→従業員の福利厚生を支援

(4) 「経営管理の本業支援」

- ・経営計画作成、モニタリング
→社長と現在の課題を共有

(2) 「成長の為の本業支援」

- 「後継者へスムーズに事業を引き継ぎたい」
→ 事業承継
- 「小ロット対応のための
生産ラインを構築したい」
→ ものづくり補助金申請
- 「コロナ禍において
新分野へ進出したい(医療用ガウン受注)」
→ 新生活様式対応支援補助金申請
- 「さらなる経費改善の手法導入をしたい」
→ 新電力導入
- 「財務担当人材を育成したい」
→ 専門家との勉強会
- 「売上を伸ばしたい」
→ 取引業者の紹介



創業から

創業当初からお取引いただき
環境が厳しく変化するなか、
社長の想いを共有し寄り添っ
てきました。

コンサル業務の強化

コロナ禍における資金繰り支援から今後のアフターコロナへ対応していくため、当行コンサルティング子会社であるきらやかコンサルティング & パートナース株式会社（KCP）の体制を強化しました。



新たな取組み

たいようパン株式会社さま
 事業：食料品製造
 創業年：1948年
 従業員数：52名

<会社の特徴>

- ①地元の学校運営に欠かせない存在
- ②50人以上の雇用を担い地域へ貢献
- ③東北でも有数の規模を誇っている

今後発展していくために・・・

①第二会社方式

日本政策金融公庫さまと連携し新会社に事業と全従業員を引き継ぎました。



②KCPによる出資

- ・地元発展に不可欠な企業さま
- ・将来の成長性



③総合コンサルティング

KCP職員によるプロジェクトチームを結成しました。



- ✓経営管理
- ✓衛生管理
- ✓人材育成
- ✓営業推進

資金面だけでなく

総合的なコンサルティング

を実施してまいります！

経営管理の本業支援 共に生きるクラブ

<共に生きるクラブ 3つのサービス>

経営管理の本業支援

プレミアム本業支援

きらやかアプリ

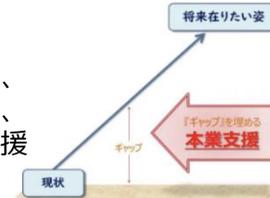
共に生きるクラブ
契約先数

2,622先

(2021年9月末)

▶経営管理の本業支援

「お客さまの稼ぐ力の向上」(営業CF改善)に向けて、ローカルベンチマークや経営デザインシートを活用し、現状と将来のありたい姿とのギャップを埋める本業支援を展開しております。



▶きらやかアプリ

オンラインで5分！助成金自動診断システム

- ・コンシェルジュサービス
- ・オンラインセミナー
- ・プレミアム本業支援

福利厚生の本業支援 ふっくりパッケージ

銀行が、本気で考えた福利厚生パッケージ

優待サービス

資産形成

体験イベント

感染症対策を十分に行い、体験イベントを随時開催しております！その他、学びの要素を取り入れた「ふっくりオンラインサロン」を実施しております。



SBIグループとの連携によるプログラミング講座を開催。

PICK UP 「ふっくり住宅ローン」取扱いの開始

ふっくりパッケージご契約企業の従業員の皆さま向けに、お得な金利で住宅ローンをご利用いただける「ふっくり住宅ローン」の取扱いを開始いたしました。各営業店窓口で受付中です。



DX

■SBIグループとの連携によるノウハウの蓄積

案件の進捗や情報交換のため毎月1回の会議を開催。当行の本業支援に理解を示すSBIグループと協力し、本業支援をより強固なものにするべく様々な面から協議が行われております。



SBIグループとの連携により導入

- 助成金自動診断システムの活用
→助成金情報の提供、申請サポート
- 無料ECサイトの提供
→販路拡大、ブランディング

■「DXの本業支援」の開始

お客様の稼ぐ力の強化に向けて、10月1日より「DXの本業支援」を開始いたしました。お客様の経理・人事労務業務のデジタル化をお手伝いするため、SBIグループとの連携を図り、簡易業務プロセス診断・実態把握調査・システム導入サポートや導入後のアフターフォローを行ってまいります。

共に活きるクラブ オンラインセミナー
2021年12月24日(金)開催
お客様のDX推進に向けた
当行の取り組みについて

共に活きるクラブ 会員の方 限定

- ・DXの本業支援を実践する意義
- ・当行の取り組み内容
- ・事例紹介 等

講師：株式会社きらや銀行 本業支援戦略部

SDGs

■SDG s 取組支援サービス

当行オリジナルのヒアリングチェックシートを用いて、お客様のSDG s 取組状況を診断し、診断結果から判明した強みの更なる強化や、企業価値をサポートします。また、お客様の「SDG s 取組宣言書」の策定をお手伝いいたします。



「SDG s 取組宣言書」のイメージ

■SDG s 特別授業

当行子会社であるきらやかコンサルティング&パートナーズ株式会社（KCP）職員によるSDGs特別授業を羽黒高等学校さまで開催。地域に根差した金融機関として、地域経済と学校教育を結び付け、SDGsの観点から実社会に生きる実践的な学びを提供するとともに、地域の次世代を担う人材の育成に貢献してまいります。



4. 仙台銀行の取組みについて

仙台銀行 中期経営計画（計画期間：2021年4月～2024年3月）

当行が目指す姿

“人で勝負する銀行”を発展させ、本業支援を通じて、地元の復興と活性化に貢献する

中期経営計画のローガン

人で勝負する銀行の深化 ～ Speed & Challenge ～

お客さまの経営課題を聞く機会を増やし、**スピード感**のある対応を強化するとともに、お客さまの多様なニーズに応える本業支援や、新たな生活様式への変革、業務効率化や渉外人員増加による営業力強化に**チャレンジ**します。

効率化・選択と集中

店舗戦略

事務の効率化

人員の
適正配置

三位一体の効率化

IT・FinTechの活用／新分野への取組み

顧客利便性向上
(非対面サービスの充実)

業務効率化
(デジタル化を基点としたBPR)

データの蓄積
分析・活用

DXの実現・SBIグループとの連携

トライアングル戦略

コア戦略の推進／中小企業向け貸出増強

渉外人員増加と
スピード回答で
コア取引先を増加

重点先への
本業支援強化

消費者ローンの
推進

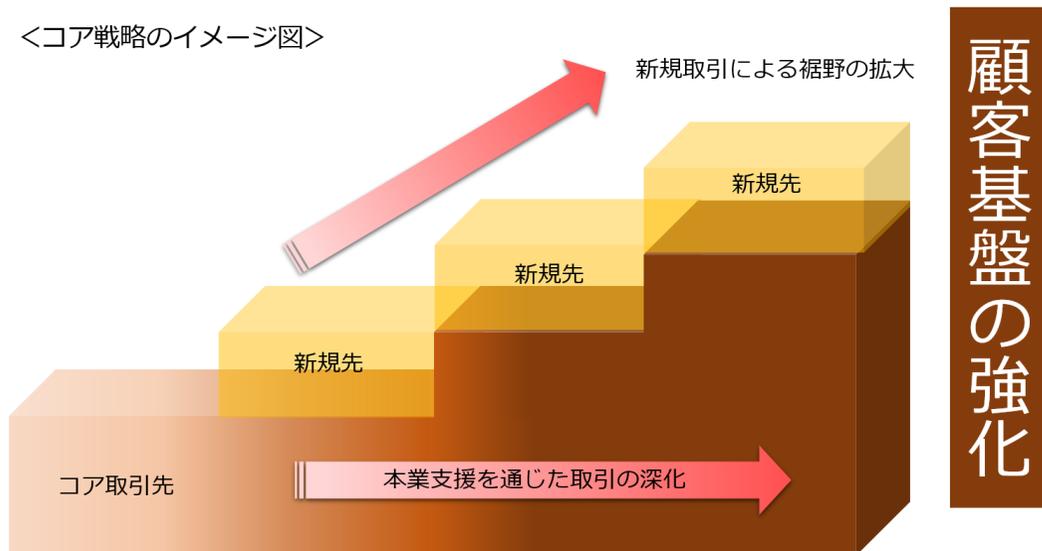
本業支援サイクル確立・メイン化推進

当行・お客さま・地域社会の持続的な成長の実現へ

コア戦略とは

当行の取引の中核となる取引先を定め、本業支援による課題解決・複合取引の拡大により取引の深化を図るとともに、新規・創業先を含む取引先のシェアアップ、ランクアップを図ることで顧客基盤の強化を目指す戦略。

＜コア戦略のイメージ図＞



- ✓ 「本業支援ヒアリング」により、取引先の経営課題・事業ニーズを聞き取り
- ✓ 「本業支援ミーティング」により、営業店・本部が連携し、個々の取引先に最適なメニューを検討・協議のうえ、提案実施



ミーティングの様子

本ミーティングでは、営業店が取引先からヒアリングした情報を本部と共有し、本部が複雑な案件組成の支援など営業店のサポートを行います。また、好事例等はタイムリーに行内で共有するなどノウハウの蓄積を図っております。ミーティングへは若手渉外担当者も積極的に参加しており、教育的機会にもつながっています。

事業債務者数



中小企業向け貸出残高



貸出金利息収入



新型コロナウイルス感染症への対応

■ 「対策支援チーム」「対策本部」による支援体制継続

コロナ関連融資（～2021/9）	実行額
プロパー対応	136億円
保証付対応	902億円
（うち実質無利子・無担保）	666億円

■ 政府系金融機関との連携による 資本性劣後ローンによる事業再生支援

取引先の財務基盤強化を支援するため、政府系金融機関と連携し資本性劣後ローンを導入（2021年度上期実績18件）

■ 「事業再構築補助金」申請支援

事業再構築補助金の申請を希望する取引先に対して、事業計画の策定支援を実施（2021年度上期実績25件）

■ テイクアウト&デリバリーガイド第2版 発行

飲食店応援企画として、持ち帰りや配達に対応した飲食店ガイド「テイクアウト&デリバリーガイド」の第2版を発行。より多くの取引先飲食店を知っていただけるよう、掲載店舗を大幅に追加しました。

本ガイドは、営業店に設置し配布しているほか、当行ホームページにも掲載しています。



宮城県内のお取引先飲食店応援企画

掲載店舗が増えました！

TAKE OUT DELIVERY

おうちごはん

仙台銀行の取引先の商品がご自宅でお楽しみいただけます。

仙台銀行 テイクアウト&デリバリーガイド 第2版

こちらからアクセス！

Sendai Big Advance クラウド型 経営支援プラットフォーム



未来をつなぐ、ともに前へ

ビジネス マッチング

ホームページ 作成

チャット

従業員向け 福利厚生

オープン インバージョン

- 全国提供金融機関 **79金融機関**（※いずれも2021年10月末時点）
- 全国会員企業数 **64,000社以上**
- パートナー企業 **1,600社以上**
- 全国ユーザー数（従業員含む） **173,000人以上**
- 「商談依頼」全国月間**4,300件以上**（※2021年10月月間）

補助金・助成金自動診断システム「Jシステム」の運用を開始

2021年9月、SBA会員向けサービスとして、(株)ライトアップが提供する補助金・助成金自動診断「Jシステム」の運用を開始しました。

ヒアリング項目にチェックすることで、申請可能な助成金等の診断が可能です。

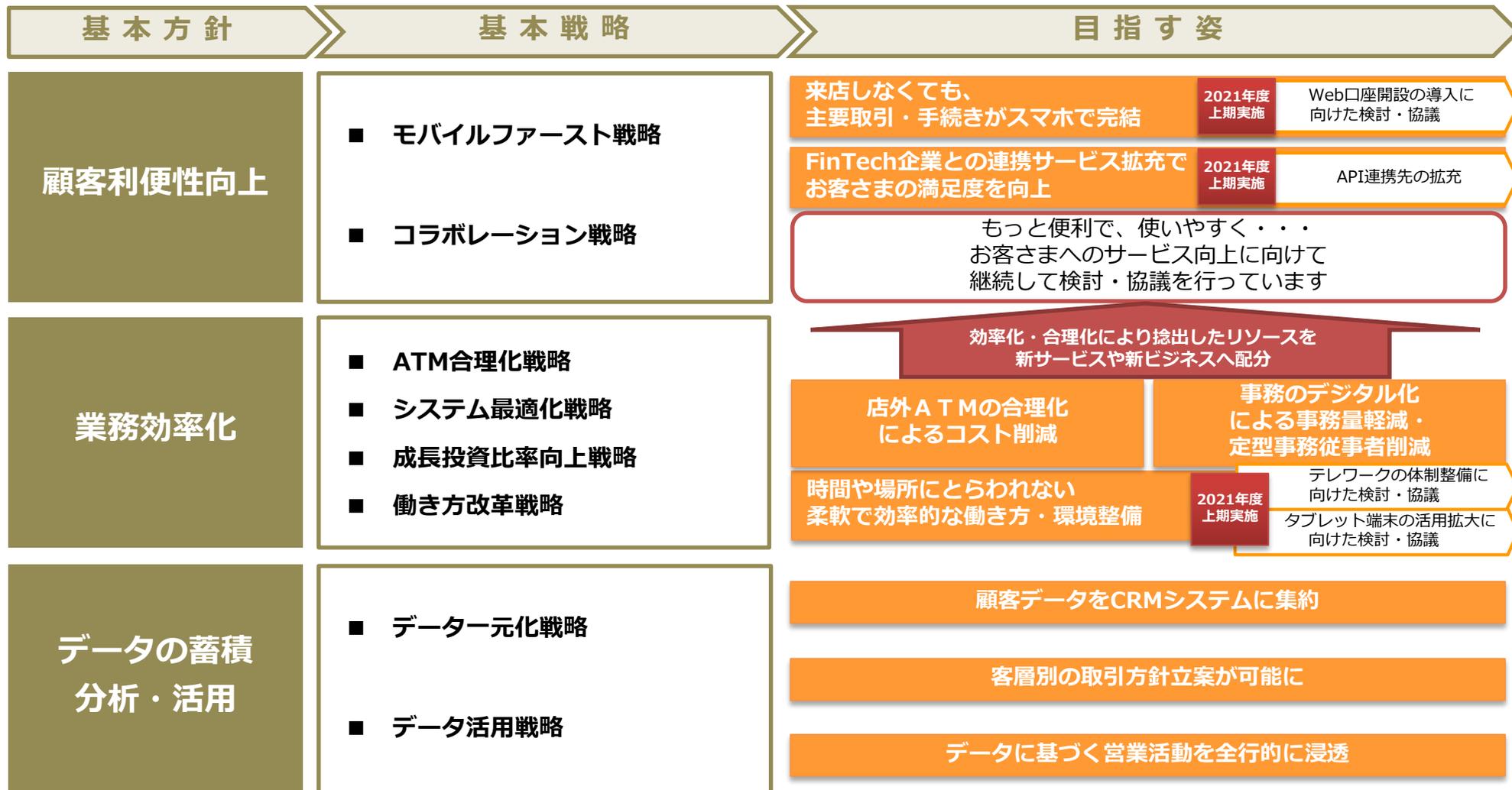
■ 中小企業庁 仙台銀キャピタル&コンサルティング 「M&A支援機関」に登録認定

当行子会社の(株)仙台銀キャピタル&コンサルティング（SCC）では、中小企業庁より「M&A支援機関」として認定を受けました。

当行グループでは、今後も、M&Aコンサルティング業務の一層の透明性、サービス向上を図るとともに、営業店・SCC・提携先外部専門家等が一体となり、経営課題の解決に向けた本業支援に取り組んでまいります。

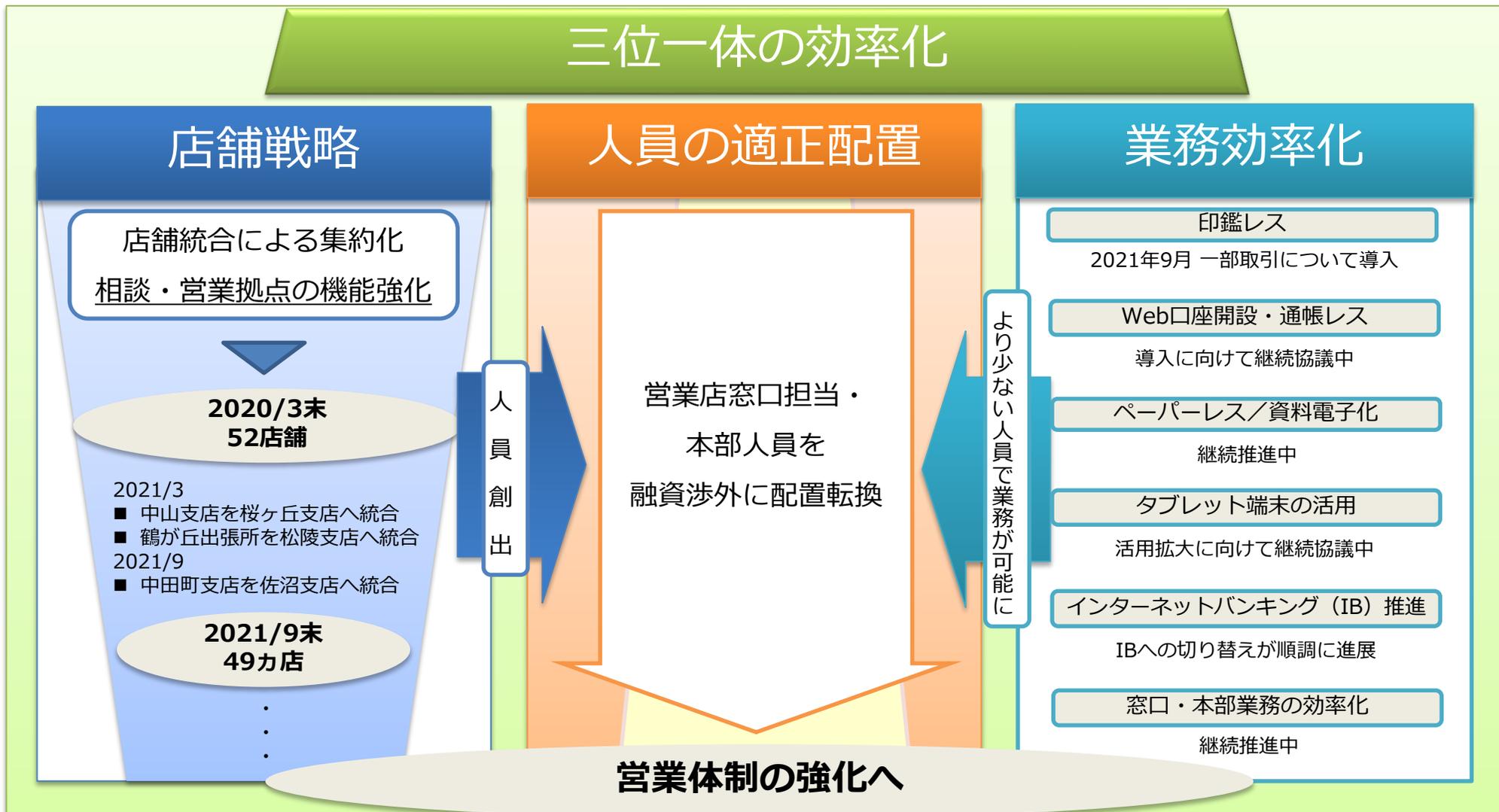
④ 中長期システム開発方針

- 中長期システム開発方針に基づき、顧客利便性向上・業務効率化・データ活用の高度化を推進。
- 効率化により捻出したリソースを新サービスや新ビジネスに配分し、更なるサービス向上を図っております。



⑤三位一体の効率化

- 店舗戦略・業務効率化・人員の適正配置を三位一体で推進。
- 限られた経営資源を効率的に配賦することで、営業体制の強化を図っております。



5. じもとグループのサステナビリティ (サステナビリティ活動報告)



- じもとグループは、2021年12月に「サステナビリティ基本方針」を制定いたしました。
- 持続可能な社会の実現に向けて、本業支援と各主要課題に取り組んでおります。

サステナビリティ基本方針

じもとグループは、地域金融グループとして「宮城と山形をつなぎ、本業支援を通じて、地元中小企業や地域に貢献する」ことを経営理念としております。

この経営理念に基づく事業活動を通じて、取引先や地域社会の持続可能な発展に貢献し、併せて、当社グループの中長期的な企業価値の向上にもつなげていく「共通価値の創造」の実現を目指してまいります。

1. じもとグループは、「本業支援」を通じて、宮城県と山形県の地元中小企業が直面する、地域経済の縮小、人口の減少・高齢化、後継者問題などの中長期的な課題への対応、業況の改善に取り組んでまいります。
2. じもとグループは、環境問題、職員の健康・労働環境の改善や公正・適切な処遇、人権尊重、東日本大震災の被災経験等を踏まえた危機管理などに取り組んでまいります。
3. じもとグループは、国連が提唱するSDGsの趣旨に賛同し、持続可能な地域社会の実現に向けて、外部連携も活用しながら、社会的な課題の解決に積極的に取り組んでまいります。

本業支援を通じた取引先への取組み
(金融機関としてなすべきこと)

主要課題への取組み
(上場企業としてなすべきこと)

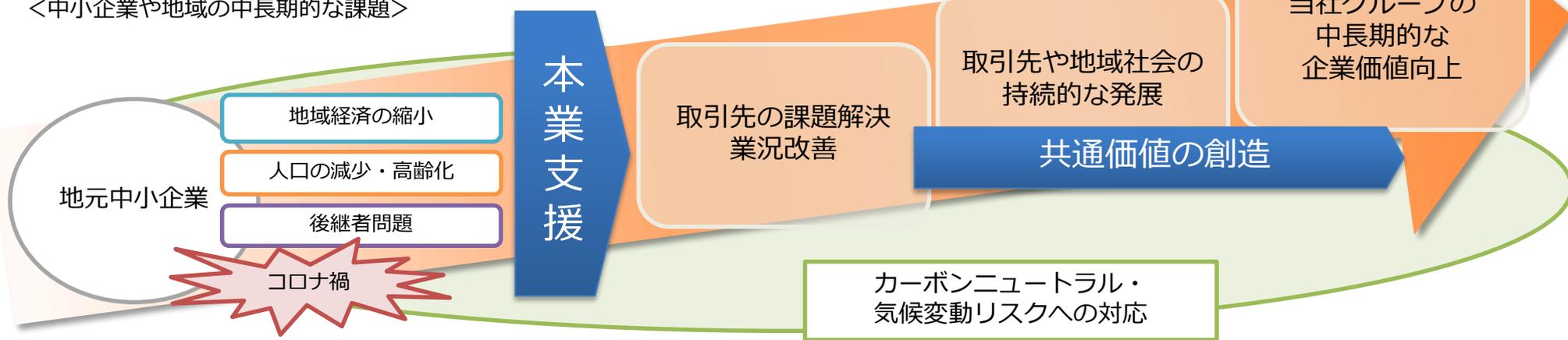
**取引先や地域社会の持続可能な発展に貢献
当社グループの収益改善**

「共通価値の創造」の実現へ

②本業支援を通じたサステナビリティ

- じもとグループは、本業支援を通じて、地元中小企業や地域の中長期的な課題の解決に対応。
- 取引先や地域社会の持続的な発展に貢献することで、当社の企業価値を向上させてまいります。

<中小企業や地域の中長期的な課題>



<課題解決への取組み>

新型コロナ禍の影響	地域経済の縮小	人口の減少・高齢化	後継者問題
<ul style="list-style-type: none"> ● 取引先との面談・ヒアリングの徹底 ● スピード重視の資金繰り支援 ➢ 新型コロナ関連融資（グループ実績） 実行：8,642件／1,938億円 条件変更：1,756件／474億円 ※2021年9月末までの累計 ● アフターコロナへの課題解決支援 	<ul style="list-style-type: none"> ● 県境を越えた新たな商機創出 ➢ 宮城と山形をつなぐビジネスマッチング ➢ 首都圏とのビジネスマッチング ➢ 無料ECサイト構築支援 ➢ きらやかアプリ・経営支援プラットフォーム「Sendai Big Advance」のサービス提供 	<ul style="list-style-type: none"> ● 企業主導型保育施設（地域企業共同利用型）の設置 ● 外国人技能実習生の受け入れ支援 ● 中小企業のデジタル化支援 ➢ 電子稟議ワークフロー導入支援 ➢ DXオンラインセミナー実施 ➢ 助成金、補助金申請支援 	<ul style="list-style-type: none"> ● 次世代の地域経営者の育成 ➢ きらやかマネジメントスクール ➢ 仙台銀行ビジネスクラブ次世代経営塾 ● 経営人材の紹介、婚活支援 ● 事業承継・M&A支援

<ファイナンス事例> 再生可能エネルギーの活用に向けた資金支援



③主要課題への取組み

- じもとグループは、上場企業として取り組むべき、サステナビリティの5つの課題を設定しております。
- 従業員や取引先などステークホルダーとの良好な関係を構築し、持続可能な社会の実現を目指しております。

主要課題 1 気候変動などの地球環境問題

項目	取組み状況
再生可能エネルギーの利用（店舗設備）	【利用実績】 4,223千kwh／年（102カ店のうち48カ店で利用） ※2020年度グループ実績
電力消費量削減	【削減実績】 ▲40千kwh／年 ※2020年度グループ実績
照明設備のLED化	【実施率】 59.8%（102カ店のうち60カ店で実施） ※2021年9月末現在
通年輕装勤務（クールビズ／ウォームビズ）の導入	じもとHD、きらやか銀行、仙台銀行の3社とも導入済み
気候変動リスクへの対応	外部説明会の受講等による情報収集

主要課題 2 人権の尊重

項目	取組み状況
通報相談窓口等の体制整備	内部通報窓口、ハラスメントに係る相談窓口を設置。 ハラスメント事案の発生防止、早期発見に取り組んでおります。
研修を通じた職員への啓蒙	コンプライアンスに係る各種研修を実施しております。 【きらやか銀行】 コンプライアンス研修7回／管理職対象研修5回／職場研修9回 【仙台銀行】 次長課長補佐対象研修1回／職場研修12回 ※期間：2020年10月～2021年9月

③主要課題への取組み

主要課題 3 従業員の健康・労働環境への配慮や公正・適切な処遇

項目	取組み状況
健康・労働環境	<ul style="list-style-type: none">・ 時間外労働時間の削減、勤務間インターバル制度、有給休暇の取得推進など、ワークライフバランスの実現に向けて勤務時間の適正な運用管理を実施しております。・ 健康診断とストレスチェック（各年1回）、産業医・保健師等の相談窓口により、職員の心身の健康管理を実施しております。
公正・適切な処遇	<ul style="list-style-type: none">・ 職員毎の目標管理、能力考課を柱とした人事考課制度を運用。・ 併せて、職員の自発的な能力開発に向けたサポート体制を整備しております。

主要課題 4 取引先との公正・適正な取引

項目	取組み状況
規程や担当部署等の体制整備	<ul style="list-style-type: none">・ コンプライアンスマニュアル、利益相反管理方針等の制定（守秘義務、説明義務・適合性の原則、苦情・相談・トラブルへの対応、善管注意義務と顧客財産保護、顧客との癒着排除等）・ コンプライアンス委員会でのルール遵守状況チェック、問題事案への対応・ 苦情受付窓口の設置
研修を通じた職員への啓蒙	<ul style="list-style-type: none">・ コンプライアンスプログラム、コンプライアンス研修の実施

主要課題 5 自然災害等への危機管理

項目	取組み状況
事業継続体制	<ul style="list-style-type: none">・ 事業継続計画（地震発生、大規模災害、感染症発生時）を策定し、定期的に災害訓練を実施しています（年3回）。・ 営業店への自家発電装置、止水版の設置など、災害に強い設備を整備しています。
災害発生時の業務運営	<ul style="list-style-type: none">・ 災害発生時の銀行取引の特例措置への迅速な対応（現金払出し、小切手・手形決済、喪失通帳の再発行、各種手数料の減免等）

人材育成の取組み

- じもとグループは、銀行業務の拡大や働き方改革が進展する中、様々な選択肢をもった人事制度を構築し、性別や採用経緯等に関わりなく、多様な人材が活躍し、能力を発揮できるよう人材育成に取り組んでおります。
- 研修や人事交流については公募制を導入するなど、職員への均等な機会を提供しております。

人材育成	取組み状況
能力開発	階層別研修、本業支援実践力行内認定資格制度、行内FPスクール
女性の活躍促進	じもとホールディングス女性活躍推進ワーキング会議を開催
外部連携	SBIグループとの人事交流の実施（有価証券運用、DX、M&Aへトレーニー派遣）

	管理職に占める女性職員割合 (2021年3月末)	正職員に占める 女性職員割合 (2021年3月末)	新規採用職員に占める 女性職員割合 (2021年3月末)
きらやか銀行	5.2 % (7名/135名)	38.4% (356名/927名)	38.9% (7名/18名)
仙台銀行	11.2 % (15名/134名)	45.7% (344名/753名)	57.1% (24名/42名)

目標：**15** % 以上 (2026年3月末)

<参考> 当社グループでは、女性役員は1名（仙台銀行取締役監査等委員、内部昇格）となっております。

社内環境整備の取組み

- じもとグループは、少子高齢化、コロナ禍による社会経済の急変、DXの進展、新業務の拡大など環境変化が進展する中、スピード感をもって業務変革に取り組んでまいります。
- これらの環境変化に対応するためには、性別等に関わりなく、働き甲斐と働きやすさ、自己実現ができる環境を整備することが必要であるため、じもとグループは、「育児や介護との両立支援」や「新たな働き方・人材育成」の環境整備を進めております。

育児・介護の支援	取組み状況
休業制度等	育児休業、介護休業、短時間勤務の支援制度を完備
社会全体での子育て支援	育児休業の取得を促進（男性職員の取得も推奨）
育児休業者へのフォロー	フォローアップセミナーの開催、職場復帰事前面談・研修の開催
職場への復帰支援	企業主導型保育施設の設置、企業主導型保育事業者との保育園利用提携
勤務エリア	居住地域から通勤可能な範囲での転勤に限定できる勤務エリア選択制度を運用

多様な人材の活躍支援	取組み状況
正社員登用制度	非正規職員から正職員への登用制度を運用
ベテラン職員の活躍支援	定年後もシニア職員として勤務が可能な制度を運用
専門人材の育成	専門性の高い業務に従事するSPコースと営業職に特化するFCコースを設定
若手職員活躍支援	指導員制度による新入行員指導、企業訪問研修「チャレンジダイバーシティ制度」
キャリア・リターン制度	結婚、出産、育児、介護等で退職した元職員の再雇用制度を運用
旧姓の継続使用	職員の婚姻等による改姓後も旧姓をビジネスネームとして使用可能に

<ワーク・ライフ・バランス関連指標>

	年次有給休暇取得率 (2020年度)	平均残業時間 (2020年度/月間)	平均勤続年数 (2021年3月末現在)
きらやか銀行	47.6%	6.5時間	男性：20.8年 女性：14.8年
仙台銀行	46.1%	11.4時間	男性：15.0年 女性：8.8年

<主な表彰・認定実績>

きらやか銀行	やまがた子育て・介護応援いきいき企業「優秀（ダイヤモンド）企業」
	山形県ワーク・ライフ・バランス優良企業知事表彰（2015年度）
	均等・両立推進企業部門山形労働局奨励賞（2015年度）
	次世代育成支援対策推進法に基づく子育てサポート企業「くるみん認定」
	イクボス宣言、やまがたイクボス同盟加盟
仙台銀行	宮城県 女性のチカラを活かす企業認証制度「ゴールド認証企業」
	宮城県いきいき男女にこここ子育て応援企業 最優秀企業
	宮城県・宮城労働局 魅力ある職場づくりモデル企業表彰
	次世代育成支援対策推進法に基づく子育てサポート企業「プラチナくるみん認定」
	イクボス宣言、イクボス企業同盟・みやぎイクボス同盟加盟
	みやぎ働き方改革実践企業認証
	厚生労働大臣女性活躍推進法「えるぼし認定」

<知的財産への投資>

	主な実施状況
本業支援	<ul style="list-style-type: none"> きらやかマネジメントスクール（山形大学等と連携、次世代の地域経営者育成）／累計受講者143名（1～4期） 仙台銀行ビジネスクラブ次世代経営塾／累計受講者数29名（1～2期） 本業支援を通じた新たな金融サービスの開発等
外部連携	<ul style="list-style-type: none"> SBIグループとの連携によるDX等の金融テクノロジーの導入、吸収

本資料には、将来の業績に関わる記述が含まれています。

こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。

将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比で異なる可能性があることにご留意ください。

《当資料に関するお問い合わせ先》

株式会社 じもとホールディングス
総 合 企 画 部

TEL : 022-722-0011 (代表)

<https://www.jimoto-hd.co.jp>